

丸亀市文化芸術基本計画
実施計画 評価参考資料

基本方針	No.	事業名	実施内容・実績	主要な成果 該当ページ	行政評価 該当ページ
1	1	瀬戸内文化芸術支援事業費	HOTサンダルプロジェクト事業	324	37
1	2	文化芸術振興事業費	文化協会育成事業	324～325	37
1	2	文化芸術振興事業費	文化振興事業	324～325	37
1	2	文化芸術振興事業費	まるとめ文化芸術祭運営事務	324～325	37
1	3	「津島寿一」文化振興補助金	文化協会事業補助	326	37
1	4	綾歌総合文化会館管理運営費	綾歌総合文化会館指定管理 等	328	38
1	5	綾歌総合文化会館施設整備費	綾歌総合文化会館施設改修 等	359	38
1	6	市民交流活動センター施設管理運営費	市民交流活動センター指定管理 ・来館者数 768,328人	65～66	47
1	7	学習センター施設管理運営費	生涯学習センター指定管理 ・利用人数 等	331～332	40
1	7	学習センター施設管理運営費	飯山総合学習センター指定管理 ・利用人数 等	331～332	40
1	8	生涯学習推進事業費	生涯学習推進事業 生涯学習推進員研修会・講座実施回数・参加人数：3回・22人	294～295	39
1	9	公民館管理運営費	公民館運営 ・活動回数 等	299～300	40

基本方針	No.	事業名	実施内容・実績	主要な成果 該当ページ	行政評価 該当ページ
1	10	コミュニティセンター運営費	コミュニティセンター指定管理 ・利用人数：233,161人	68	48
1	11	コミュニティ推進費	地区コミュニティ運営助成	69	48
1	12	私立保育園等援助費	芸術家派遣事業費補助 ・利用施設数13施設、実施回数37回、参加人数846人	148～149	6
2	1	美術館管理運営費	猪熊弦一郎現代美術館指定管理	313	37
2	1	美術館管理運営費	地域の芸術環境づくり補助 等	313	37
2	2	美術館施設整備費	猪熊弦一郎現代美術館施設改修 等	313	37
3	1	新市民会館整備事業費	管理運営計画策定支援業務委託	328～329	38
3	1	新市民会館整備事業費	課題解決型実践事業業務委託	328～329	38
3	1	新市民会館整備事業費	文化芸術推進サポーター養成講座開催業務委託	328～329	38
3	1	新市民会館整備事業費	アーティスト・コーディネーター育成業務委託	328～329	38
3	2	新市民会館建設事業費	新市民会館建設工事	329～330	38
3	3	商工業振興事業費	丸亀うちわミュージアム管理運営事業 ・来館者数：15,193人	212	26

基本方針	No.	事業名	実施内容・実績	主要な成果 該当ページ	行政評価 該当ページ
3	3	商工業振興事業費	香川県うちわ協同組合連合会補助	212	26
3	3	商工業振興事業費	青木石材協同組合補助	212	26
3	3	商工業振興事業費	伝統的工芸品産業産地補助 ・補助件数：1件	212	26
3	4	丸亀うちわ産業発展支援事業費	丸亀うちわ産業発展支援事業補助	213	26
3	5	観光振興事業費	丸亀お城まつり開催事業等業務委託 ・来場者数：144,000人	215～216	27
3	5	観光振興事業費	あやうたふるさとまつり開催補助 ・来場者数：4,700人	215～216	27
4	1	資料館管理運営費	資料館施設管理、運営、企画展示 ・入場者数 27,047人	310～311	35
4	2	京極家資料調査・修復等事業費	京極家資料修復等業務 ・修復資料のデジタルデータ化 33件	312	35
4	3	文化財保護事業費	史跡塩飽勤番所跡指定管理 ・入場者数：5,339人	314	36
4	3	文化財保護事業費	文化財保護協会補助 補助金400千円	314	36
4	3	文化財保護事業費	坂本念仏踊保存会補助 補助金280千円	314	36
4	3	文化財保護事業費	公益財団法人中津万象園保勝会補助 補助金5,000千円・入場者数：59,753人	314	36

基本方針	No.	事業名	実施内容・実績	主要な成果 該当ページ	行政評価 該当ページ
4	4	埋蔵文化財調査事業費	発掘調査 件数：13件（確認調査6件・試掘調査7件）	315～316	36
4	5	埋蔵文化財整理事務所施設費	埋蔵文化財整理事務所施設管理業務	316	36
4	6	史跡丸亀城跡整備推進費	丸亀城天守管理及び徴収事務委託・入城者数：116,889人	317	36
4	7	丸亀城天守耐震診断事業費	重要文化財丸亀城天守耐震診断業務委託	318	36
4	8	まち並み保存推進費	笠島まち並保存センター等指定管理等 ・来訪者数：1,049人	318	36
4	9	古墳等整備推進費	史跡快天山古墳維持管理	319	36
4	10	丸亀城保存整備費	丸亀城石垣復旧事業 ・進捗率：37%	320～321	36
4	11	城泊事業準備事業費	城泊事業準備補助 ・観光協会と連携し市民向けセミナーの開催103人	317	36
4	12	まち並保存事業費	笠島伝統的建造物群保存修理事業 ・修理件数：8件（修理6件・修景2件） ・防災施設整備 防火水槽設置	321～322	36
4	13	史跡快天山古墳整備事業費	快天山古墳保全整備計画策定に伴う発掘作業等 ・進捗率：21%	322	36
4	14	市指定文化財整備事業費	市指定文化財保存修理 ・修理件数：0件	323	36
4	15	丸亀城石垣保全調査事業費	石垣測量業務委託 等	319	36

基本方針	No.	事業名	実施内容・実績	主要な成果 該当ページ	行政評価 該当ページ
4	16	丸亀城石垣保全整備事業費	排水対策工事 等 ・進捗率：13%	323	36
4	17	商工業振興事業費	丸亀うちわニュー・マイスター認定等事業補助 ・認定数：新規0人（R3：0人・R2：1人・R1：2人） 認定総数31人	212	26
4	18	学校給食センター管理運営費	学校給食センター運営 ・郷土料理の提供 回数：中央センター-38回 第二センター-44回 飯山センター-43回 本島センター-44回	341～342	3
5	1	瀬戸内国際芸術祭事業費	瀬戸内国際芸術祭関連業務委託 等	327	37
5	1	瀬戸内国際芸術祭事業費	瀬戸内国際芸術祭本島実行委員会	327	37
5	2	国際交流事業費	外国人受入環境整備事業	67	27

令和4年度

主要施策の成果に関する
報告書

丸 亀 市

9	事業名	地域市民活動促進事業費				担当課	生涯学習課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	1,603	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源	2,444
R3	1,546				348	1,255	執行率
R2	1,569	0	0	0			65.59 %
事業の趣旨・目的							
自治基本条例に基づき、市民活動や協働を推進する。							
実施事業の内容							
報償費							34
提案型協働事業選考委員謝金 (2人)							
協働推進員研修講師謝金 (1人)							
提案型協働事業委託料 (2件)							1,000
市民活動ステップアップ補助金 (5件)							354
事務費等							215
事業の成果・課題							
提案型協働事業は選考委員会で採択された2件が実施された。市民活動ステップアップ補助金については、令和4年度より補助金の上限を5万円から10万円に増額したことにより、新たな活動や幅を広げる活動に繋がり、団体設立後初の事業実施や、市内全域に配付する冊子作成の事業を実施することができた。							
また、市民や市民活動団体等との協働推進のため各課に配置している協働推進員の研修会では、協働推進計画 (仮称) の策定全体を通して専門的なアドバイス等をいただく協働アドバイザーとマルタスセンター長に参加していただき、改めて協働の基本を学び、協働における主体の特徴を考えるワークショップを行い、職員の意識啓発を図った。							
今後は、提案型協働事業や補助金の利用促進に繋げるため、市ホームページや提案型協働事業報告会等で周知に努めるほか、引き続き職員へ協働に対する認識を高めるような働きかけを行っていく。							
10	事業名	市民交流活動センター施設管理運営費				担当課	生涯学習課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	140,267	国支出金	県支出金	地方債	使用料等	一般財源	142,400
R3	138,732				12,173	128,094	執行率
R2	23,488	0	0	0			98.50 %
事業の趣旨・目的							
市民交流活動センター (マルタス) の管理運営を行う。							
実施事業の内容							
光熱水費等 (立替払…電気代、ひかり電話分、水道代)							10,567
指定管理業務委託料							129,700
※マルタス利用状況							
項 目				実 績			
開館日数				365 日			
来館者数				768,328 人			
市民活動団体主催 活動実施件数				748 件			

〔表の続き〕

マルタス自主企画 活動実施件数	196	件
市民活動についての相談件数	705	件
市民活動登録件数	264	件

事業の成果・課題

マルタスでは、市民活動団体主催などによる事業・活動が748件と前年度（244件）と比較して3倍近くの事業・活動が実施されたほか、市民活動についての相談件数は705件を数え、市民活動を実施・支援する場所であるとの認識が深まった。

また、マルタスは様々な主体と協働で事業を実施し、市民活動団体が持つ機動力とマルタスが持つ集客力や組織力が組み合わさり、より効果的な事業へとつながった。

今後は、市民活動者への支援に重点を置き、相談体制の強化や交流の場の創出等に努めるとともに、引き続き適切な施設管理を行っていく。

11	事業名	市民交流活動センター改修事業費			担当課	生涯学習課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）				予算現額
R4	4,106	国支出金	県支出金	地方債	一般財源	4,600
R3	—	0	0	3,000	1,106	執行率
R2	—					89.26 %

事業の趣旨・目的

市民交流活動センター（マルタス）の改修を行う。

実施事業の内容

工事費	4,106
入口ドア引き戸工事	
入口ドア自動ドア工事	
駐輪場ガードパイプ設置工事	

事業の成果・課題

1階の出入口のうち2箇所を改修したことで、強風の影響を受けることなく、車いすやベビーカーを利用する場合でも出入りしやすくなり、利用者の利便性が向上した。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	15	国際交流費	
1	事業名				国際交流事業費			担当課	秘書政策課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)						予算現額	
R4	8,712	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源	8,792		
R3	8,162						執行率		
R2	7,934	2,500	0	0	74	6,138	99.09 %		
事業の趣旨・目的									
国際交流や都市間交流を支援するとともに、外国人住民と共に暮らす環境を整える。									
実施事業の内容									
丸亀市国際交流協会補助金								2,710	
香川県国際交流協会負担金								56	
業務委託料								5,443	
外国人窓口対応等業務委託料								5,000	
国際交流関連委託料 (コンサルティング・翻訳業務)								300	
張家港市学生交流事業委託料 (オンライン交流)								143	
事務費等								503	
外国人受入環境整備事業									
日本語教室		水曜教室 (2クラス) 50回 延べ		539人					
		日曜教室 (1クラス) 48回 延べ		103人					
外国人相談		1,933件							
事業の成果・課題									
新型コロナウイルス感染症の感染拡大など不安定な社会情勢の中、多様な悩みを抱える在留外国人に対し、丸亀市国際交流協会による相談支援等に努めたほか、昨年度に引き続き、友好都市とのオンライン交流を実施し、交流の継続に努めた。今後も、多文化共生社会の実現に向けた取組を着実に進めていく。									

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	16	コミュニティ費
1	事業名	コミュニティセンター運営費				担当課	生活環境課	
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額	
R4	150,690	国支出金	県支出金	地方債	手数料	一般財源	155,313	
R3	142,760				28	150,662	執行率	
R2	141,639	0	0	0			97.02 %	
事業の趣旨・目的								
地域の活動拠点であるコミュニティセンターの管理運営を指定管理者制度により地域コミュニティに委託し、自主的な施設の管理運営により、円滑な地域活動を支援する。								
実施事業の内容								
会計年度任用職員報酬等(2人)							4,710	
施設管理委託料							464	
指定管理委託料							139,068	
城北コミュニティセンター		9,095						
城坤コミュニティセンター		7,734						
飯山北コミュニティセンター		7,326						
富熊コミュニティセンター (ゆうとびあ綾歌含む)		15,009						
城西コミュニティセンター		9,022						
城乾コミュニティセンター		9,036						
土器コミュニティセンター		8,549						
飯野コミュニティセンター		8,756						
川西コミュニティセンター		8,720						
飯山南コミュニティセンター		8,965						
城南コミュニティセンター		9,132						
郡家コミュニティセンター		8,192						
垂水コミュニティセンター		8,767						
栗熊コミュニティセンター		9,669						
岡田コミュニティセンター		11,096						
土地借上料							182	
施設修繕費							3,907	
工事請負費							1,254	
AED借上料等							518	
事務費等							587	
事業の成果・課題								
島しょ部を除く15地区のコミュニティセンターの管理運営を、指定管理者制度により各地区のコミュニティに委託した。令和4年度は、想定外のエネルギー価格の高騰により光熱水費が不足するコミュニティもあったが、不足分を補填するなどの対策を講じ、地域活動の拠点として、適正な管理運営を行うことができた。								

2	事業名	コミュニティ推進費				担当課	生活環境課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	46,457	国支出金	県支出金	地方債	助成金等	一般財源	49,434
R3	47,743						執行率
R2	47,791	0	0	0	4,600	41,857	93.98 %

事業の趣旨・目的

地区コミュニティの事業運営経費に資するため補助金を交付することにより、コミュニティの活動推進を図る。

実施事業の内容

地区コミュニティ運営助成金 (17コミュニティ)	40,989
一般財団法人 自治総合センター 一般コミュニティ助成事業補助金 (2コミュニティ:城南・栗熊)	3,600
コミュニティまちづくり補助金 (3コミュニティ 飯野、岡田、飯山南)	900
市コミュニティ協議会連合会補助金	640
事務費等	328

事業の成果・課題

地区コミュニティに対して運営助成金やまちづくり補助金の交付を行い、コミュニティ組織としての運営と地域特性を生かした活動を推進している。また、自治総合センターの一般コミュニティ助成事業補助金も活用し、地域において創意工夫をしながらコミュニティ活動を展開している。

市コミュニティ協議会連合会においては、会報を発行し、地区コミュニティの活動や取組について情報発信を行った。

3	事業名	コミュニティセンター整備事業費				担当課	生活環境課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	43,640	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	67,460
R3	246,854						執行率
R2	591,492	0	0	28,400		15,240	64.69 %

事業の趣旨・目的

心ふれあうまちづくりを推進するため、コミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの整備を行う。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (15,000)

コミュニティセンター施設整備費 43,640

事業名	事業内容	事業費	特定財源
垂水コミュニティセンター整備事業	駐車場整備等に係る工事費等	39,010	地方債 25,000
飯山北コミュニティセンター整備事業	主体・設備設計等に係る費用	4,630	地方債 3,400
計		43,640	

事業の成果・課題

施設の老朽化や耐震強度不足等に対応するため、計画的にコミュニティ施設の整備を進めている。垂水コミュニティセンターの駐車場整備工事等の実施や、飯山北コミュニティセンター建設工事に伴う主体・設備設計等に着手するなど、コミュニティセンターの整備により、地域住民の利便性向上を図る。

【参考】市外施設入所児童数 (令和5年3月末)

事業所内 保育所	オリーブガーデン (坂出市)	0歳児:1名、1歳児:2名、2歳児:1名
	堀江保育所 (多度津町)	2歳児:1名
	あおぞら保育園 (観音寺市)	1歳児:1名
	なでしこ保育園 (岡山県)	0歳児:1名
こども園	坂出一高幼稚園 (坂出市)	4歳児:1名、5歳児:4名
	ルンビニ幼稚園 (坂出市)	2歳児:2名、3歳児:3名、4歳児:4名 5歳児:2名
	メリーGOランド高松園 (高松市)	5歳児:1名
	青山幼稚園 (宇多津町)	3歳児:3名、4歳児:2名、5歳児:4名
	わかくさ北こども園 (宇多津町)	2歳児:1名、4歳児:1名、5歳児:1名
	香川短期大学附属幼稚園 (宇多津町)	2歳児:16名、3歳児:16名、4歳児:22名 5歳児:14名
	くれよんこども園 (観音寺市)	4歳児:1名
	香川短期大学附属のぞみこども園 (善通寺市)	4歳児:1名
	聖徳幼稚園 (山梨県)	4歳児:1名

(※入所児童の年齢は令和4年3月31日現在)

事業の成果・課題

国の幼児教育・保育の無償化及び女性の就業率向上などにより、依然として保育ニーズは高く、低年齢児を中心に年度途中での待機児童が発生している状況である。
そのため、保育士修学資金の貸付など保育士確保対策事業を実施すること等により、私立園における保育士数は増加が見られる。

3	事業名	私立保育園等援助費				担当課	幼保運営課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	314,763	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	327,182
R3	239,256						執行率
R2	220,055	57,327	24,510	0	4,109	228,817	96.20 %

事業の趣旨・目的

私立認可保育園・認定こども園の保育環境の向上や保育士確保のほか、当該施設を利用する子どもの給食費を免除することを目的として、当該私立園に対して助成する補助金や、私立認可保育園が整備した施設に係る資金調達で発生した利子の補給金、地域子育て支援拠点事業(旧センター型)、一時預かり事業、延長保育等の特別保育事業に要する経費を助成する。

実施事業の内容

※一般財源のうち、地方消費税交付金67,756を私立保育園等運営補助金に充当

私立保育園等運営補助金	254,778
私立保育園等運営補助金 (16園)	49,702
障がい児保育事業費補助金 (12園)	88,465
補足給付費補助金 (私立給食費)	67,756
保育環境改善事業等補助金 (14園)	12,554
保育士処遇改善特例補助金 (16園)	31,382
感染症対策物品等購入事業費補助金 (オムツ処理 13園)	3,876
芸術家派遣事業費補助金 (13園)	977
過年度国県等支出金返還金	66
私立保育園施設整備事業利子補給金 (1園)	12

特別保育事業費		59,973
保育所地域活動事業委託料	(13園)	3,250
地域子育て支援拠点事業(旧センター型)委託料	(4園)	31,673
一時預かり事業委託料	(3園)	11,160
延長保育事業委託料	(15園)	7,667
新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費補助金	(12園)	6,223

事業の成果・課題

私立保育園等における保育環境の向上のため運営費補助や加配保育士の配置に加え、障がい児保育を支援するほか、芸術家派遣への補助金等を支給し、子どもの感性を育む取組を支援することができた。また、子育て世帯の多様なニーズに応えられるよう、引き続き、特別保育を委託するとともに、近年、待機児童の受け皿となっている一時預かり事業は、利用希望者が多くさらなる拡充に取り組む。

4	事業名	子育て支援事業費					担当課	教育総務課・幼保運営課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源を含む)						予算現額
R4	40,920	国支出金	県支出金	地方債	保育料等	一般財源	45,456	
R3	36,776						執行率	
R2	31,202	13,718	13,718	0	1,482	12,002	90.02%	

事業の趣旨・目的

家庭保育をしている子育て家庭への支援のため、公立保育所において地域子育て支援拠点事業(旧センター型)を実施するほか、保護者が出産等の理由(一時的な理由)で家庭保育ができない場合に対応するため、公立保育所・こども園において一時預かり事業を実施する。また、国の幼児教育保育の無償化に伴い、一時預かり事業利用者に対し、施設等利用給付を行う。

実施事業の内容

地域子育て支援拠点事業費(旧センター型)	(公立保育所3園)	25,766
会計年度任用職員報酬等(8人)		18,961
施設管理委託料(園舎等清掃委託ほか4件)		1,276
その他		5,529
一時預かり事業費(公立保育所・こども園3園)		15,154
会計年度任用職員報酬等(6人)		14,608
一時預かり事業利用料給付費		205
その他		341

事業の成果・課題

地域子育て支援拠点事業については、コロナ禍においても、在宅で子育てを行っている保護者が孤立しないよう、育児相談や子育てに関する情報提供などを行ってきた。地域における子育て支援の場として、引き続き、多様なニーズに応えられるよう、サービスの充実に努める。

一時預かり事業は、公立園でも私立園と同様に利用希望者が多い状態で推移しているため、保育ニーズに対応できるサービスの充実に努めていく。

5	事業名	保育所等職員教育研究事業費				担当課	幼保運営課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	3,263	国支出金	県支出金	地方債	一般財源	5,482	
R3	3,179					執行率	
R2	2,005	0	0	0	3,263	59.52%	

事業の趣旨・目的

最新の研修等を受け、研鑽を積み、公立保育所・認定こども園職員の保育資質向上を図る。

3	事業名	商工業振興事業費				担当課	産業観光課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	27,097	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	27,478
R3	23,045	0	0	0	2,000	25,097	執行率
R2	22,845						98.61 %

事業の趣旨・目的

商工業の振興、中心市街地の活性化、産学官の連携を図るため、関係団体の事業運営に対し補助するもの。

実施事業の内容

丸亀商工会議所運営補助金	6,000
丸亀市飯綾商工会運営補助金	5,000
丸亀TMO運営等補助金	1,100
産学支援等事業補助金	350
キッズウィーク推進補助金	300
F A C E 2 1 運営協議会負担金	700
丸亀市中央商店街振興組合連合会補助金	700
丸亀うちわミュージアムパンフレット作成業務委託料 (3,000部)	500
うちわの港ミュージアム修繕料	172
香川県うちわ協同組合連合会補助金	1,650
青木石材協同組合補助金	220
伝統的工芸品産業産地振興事業補助金	362
丸亀うちわニュー・マイスター認定等事業補助金	275
うちわの港ミュージアム運営業務委託料	3,200
うちわの港ミュージアム施設管理費等	2,518
丸亀うちわミュージアム賃貸料	4,050

事業の成果・課題

各種関係団体と連携し、商工業の振興、中心市街地の活性化等を図ることに努めた。産学支援等事業では、地元農産物のPRや食品ロスの削減などを目的に、香川短期大学や香川県農業協同組合と連携し、形や大きさが規格外のため、市場に流通できない地元農産物等を用いて、食品レシピの開発に取り組んだ。

また、穴吹デザインカレッジの学生が市内6事業所のオリジナルロゴマークを制作し、発表・展示を行った。各補助団体においては、自主財源の確保に努め、組織として自立化を図るとともに、事業成果を常に検証し、社会・経済情勢、会員ニーズ等を的確に捉えた事業展開を推進できるように、積極的な指導・助言等を行っていく。

4	事業名	商工業振興融資事業費				担当課	産業観光課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	172,759	国支出金	県支出金	地方債	預託金返還金	一般財源	173,135
R3	172,057	0	0	0	165,000	7,759	執行率
R2	174,126						99.78 %

事業の趣旨・目的

中小企業者、団扇業者の事業活動に必要な資金を融資することにより、経営の安定と中小企業・団扇産業の振興を図る。また、新規に事業を開始しようとする者を支援し、事業者の育成と振興を図る。

実施事業の内容		
融資等事務業務委託料		2,300
中小企業融資預託金		105,000
" 保証料負担金		181
" 保証料補給金		1,708
" 利子補給金		1,862
<令和4年度貸付実行状況>		
件数	31 件	
金額	107,890 千円	
小規模事業者経営改善資金利子補給金		9
団扇工業振興融資預託金		45,000
" 保証料補給金		473
" 利子補給金		435
<令和4年度貸付実行状況>		
件数	1 件	
金額	45,000 千円	
創業支援融資預託金		15,000
" 保証料補給金		80
" 利子補給金		126
" 損失補償金		585
<令和4年度貸付実行状況>		
件数	7 件	
金額	18,600 千円	

事業の成果・課題

令和4年度の融資件数は、前年度に比べ若干増加しており、特に創業支援融資件数が増加した。今後も市民（企業）ニーズを検証し、必要に応じて、制度の見直しを行っていく。

5	事業名	丸亀うちわ産業発展支援事業費			担当課	産業観光課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）				予算現額
R4	1,280	国支出金	県支出金	地方債	一般財源	2,000
R3	—					執行率
R2	—	0	640	0	640	64.00 %

事業の趣旨・目的

香川県うちわ協同組合連合会が行う販路開拓、人材育成、技術の伝承等に要する経費等を補助することにより、丸亀うちわ産業の振興に寄与することを目的とする。

実施事業の内容

丸亀うちわ産業発展支援事業補助金 1,280

事業の成果・課題

「第75回香川丸亀国際ハーフマラソン大会」において、出場者や関係者等に応援用うちわを配布したことで、県内外の方へ「丸亀うちわ」をPRすることができた。

また、「丸亀うちわミュージアム」のオープニングセレモニー配布用うちわの製作を技術技法講座の修了生に担ってもらい、将来の後継者としての意欲と技術の向上を図った。

款	7	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費
1	事業名		観光宣伝費			担当課	産業観光課	
	決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)				予算現額	
R4	35,126	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	35,354	
R3	34,105						執行率	
R2	34,143	0	0	0		35,126	99.36 %	
事業の趣旨・目的								
観光案内及び情報発信を行い、また本市の魅力进行宣传し誘客を図るため、観光案内所等のサービス向上に努め、各観光協議会と連携しPRを積極的に行う。								
実施事業の内容								
※一般財源のうち、入湯税18,231を充当								
	会計年度任用職員報酬等 (1人)						2,391	
	修繕料 (屋釜浮標灯、屋釜公衆トイレ、太鼓、公用車車検代)						1,124	
	観光案内所管理運営委託料						25,000	
	丸亀市本島パークセンター施設管理運営委託料						3,245	
	令和4年度利用者数 7,707人							
	さぬき瀬戸大橋広域観光協議会会費						490	
	自然公園美化清掃事業負担金						700	
	わがかがわ観光推進協議会負担金						1,409	
	日本政府観光局賛助会員負担金						300	
	自転車活用推進全国市区町村長の会負担金						10	
	事務費等						457	
事業の成果・課題								
新型コロナウイルス感染症が徐々に縮小傾向となる中、年度後半には、訪日制限が緩和されインバウンド客は少しずつ増加に転じ、観光を取り巻く状況は少しずつではあるが改善された。そのような中、アフターコロナに向け、城内観光案内所においては、トイレを洋式化するなど、インバウンド客の受入れ環境の整備を図った。また、広域観光圏における市町と協力し、周遊できるイベントを行い誘客に努めた。								
2	事業名		観光振興事業費			担当課	産業観光課	
	決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)				予算現額	
R4	32,985	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	33,140	
R3	8,756						執行率	
R2	5,925	0	0	0	1,000	31,985	99.53 %	
事業の趣旨・目的								
丸亀お城まつりや丸亀城菊花展、あやうたふるさとまつりなどの地域イベントや観光資源等の活用を図り、丸亀市全体の観光振興につなげていく。安心・安全で快適な観光ができるよう、観光資源の安全対策等を行い、本市への観光客の受け入れ態勢を整える。								

実施事業の内容

屋釜海水浴場光熱水費	95
屋釜海水浴場管理委託料	292
丸亀お城まつりにかかる仮設テント等設営撤去業務委託料	3,245
丸亀城菊花展開催委託料	1,330
期 日 令和4年10月21日～11月13日	
入込客数 28,363 人	
丸亀さつき愛好会運営補助金	200
さつき展 令和4年5月20日～22日	
盆栽展 令和4年11月28日～30日	
丸亀お城まつり開催補助金	20,000
期 日 令和4年5月3日～4日	
入込客数 144,000 人	
サメ対策事業補助金	1,460
遊泳区域告知用ブイ設置事業補助金	1,200
あやうたふるさとまつり開催補助金	3,420
期 日 令和4年11月5日～6日	
入込客数 4,700 人	
丸亀にぎわいプロジェクト補助金	1,320
①丸亀お城ポスト完成お披露目イベント	
期 日 令和4年9月23日	
入込客数 1,000 人	
②ワクワク体験 Kids王国in丸亀	
期 日 令和4年10月15日	
入込客数 6,700 人	
③四国家のお宝 丸亀のジオ×まちづくり	
期 日 令和4年11月11日～12日	
参加者 30 人	
④まるがめ地域活性化プランコンテスト	
期 日 令和5年3月25日～26日	
参加者(市内4高校) 29 人	
事務費等	423

事業の成果・課題

本市の最大イベントである丸亀お城まつりは、規模を縮小し、新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで3年ぶりに開催し、2日間で延べ14.4万人の入込客数となった。また、あやうたふるさとまつりも3年ぶりに開催できたが、本島・広島海水浴場の海開きは中止となった。今後は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを踏まえ、県内外から誘客できるイベントの開催や観光資源の環境整備に努める。

事業の成果・課題						
<p>少年団体連絡協議会においては、指導者の育成を目的とし「障害のある子どもたちへの接し方」というテーマで研修会を開催した。親子都市である京極町とは、3年ぶりにお互いに現地を訪問し、相互の特徴を生かしたプログラムを体験しながら子ども同士の親交を深めた。</p> <p>また、新たに親子を対象とした少年体験活動事業として海釣り体験を実施し、子どもだけでなく親子で共通の体験ができる機会の提供に努めた。今後も多方面の協力を得ながら、子どもたちの体験活動を充実させていきたい。</p>						
6	事業名	成人式開催事業費			担当課	生涯学習課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)				予算現額
R4	1,707	国支出金	県支出金	地方債	一般財源	1,758
R3	1,464	0	0	0	1,707	執行率
R2	1,996					97.10 %
事業の趣旨・目的						
<p>二十歳に達した者を祝い、励ますとともに、社会人としての権利と義務、責任を自覚させることを目的に、二十歳の成人式を開催する。</p>						
実施事業の内容						
印刷製本費					288	
式典委託料					1,045	
会場借上料					343	
事務費等					31	
事業名		開催日	場所	参加者数		
令和5年丸亀市二十歳の成人式 (該当者数:1,145人)		令和5.1.8	アイレックス	1部:394人 2部:455人		
事業の成果・課題						
<p>昨年度に引き続き、1会場での入替制、アトラクション時間の短縮や集合写真の中止等、感染症対策を講じたうえで二十歳の成人式を開催した。会場に来られない方に向けては、主催者の祝辞や会場の様子を動画で配信した。</p> <p>今後については、新型コロナウイルス感染症の影響も収まってきていることから、開催方法やアトラクション内容の見直し、集合写真撮影の再開など、スムーズな式典の開催に加えて、参加者の地元への関心が増すような内容を検討していく。</p>						
7	事業名	生涯学習推進事業費			担当課	生涯学習課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)				予算現額
R4	23	国支出金	県支出金	地方債	一般財源	65
R3	60	0	0	0	23	執行率
R2	142					35.38 %
事業の趣旨・目的						
<p>全コミュニティに配置している生涯学習推進員とともに地域づくりにつながる生涯学習事業を効果的に推進する。</p>						
実施事業の内容						
生涯学習推進員講師謝金等 (1人・開催回数1回)					23	

事業の成果・課題

生涯学習推進員研修会として、推進員同士の意見交換会や、市外の活動事例を紹介し地域づくりを考えるきっかけとなる講演会などを実施し、地域での生涯学習活動の実践に役立つ学習機会の提供に努めた。

今後もコミュニティ活動と生涯学習活動との効果的な連携につながるよう地域人材の発掘・育成に取り組む。

8	事業名	放課後子どもプラン事業費				担当課	教育部総務課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	182,131	国支出金	県支出金	地方債	保育料	一般財源	184,431
R3	166,380						執行率
R2	165,750	39,355	41,720	0	59,147	41,909	98.75 %

事業の趣旨・目的

放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な居場所を設けて、子どもたちが多様な体験・活動を行うことができるよう、環境づくりを推進する事業である。

実施事業の内容

(1) 放課後留守家庭児童会事業費	174,560
放課後留守家庭児童会運営業務委託料	164,841
備品購入費	805
光熱水費	3,661
過年度補助金返還金	575
その他経費	4,678
(2) 放課後子供教室事業費	7,571
放課後子どもプラン運営委員等報償費	5,825
運営委託料	1,547
その他経費	199

留守家庭児童会入会児童数 (33教室)

(R5.3.31 在籍数)

城乾第1 青い鳥教室	39 人	郡家第1 青い鳥教室	41 人
城乾第2 青い鳥教室	20 人	郡家第2 青い鳥教室	53 人
城坤第1 青い鳥教室	43 人	郡家第3 青い鳥教室	34 人
城坤第2 青い鳥教室	66 人	飯野第1 青い鳥教室	47 人
城坤第3 青い鳥教室	47 人	飯野第2 青い鳥教室	37 人
城北青い鳥教室	56 人	垂水第1 青い鳥教室	21 人
城西第1 青い鳥教室	54 人	垂水第2 青い鳥教室	23 人
城西第2 青い鳥教室	48 人	垂水第3 青い鳥教室	20 人
城南第1 青い鳥教室	46 人	岡田第1 青い鳥教室	27 人
城南第2 青い鳥教室	39 人	岡田第2 青い鳥教室	15 人
城南第3 青い鳥教室	39 人	栗熊青い鳥教室	21 人
城南第4 青い鳥教室	42 人	富熊青い鳥教室	51 人
城東第1 青い鳥教室	55 人	飯山南第1 青い鳥教室	39 人
城東第2 青い鳥教室	29 人	飯山南第2 青い鳥教室	22 人
城東第3 青い鳥教室	45 人	飯山北第1 青い鳥教室	62 人
城辰第1 青い鳥教室	35 人	飯山北第2 青い鳥教室	39 人
城辰第2 青い鳥教室	31 人	児童数計	1,286 人

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	------

1	事業名	公民館管理運営費				担当課	生涯学習課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	6,202	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,395
R3	5,756						執行率
R2	5,917	0	0	0		6,202	96.98 %

事業の趣旨・目的

公民館の管理運営及び市民講座等の開設により、生涯学習の充実を図る。

実施事業の内容

公民館運営費	5,417
東小川公民館指定管理委託料	5,181
生涯学習まつり補助金	180
県公民館連絡協議会負担金	54
事務費等	2
市民講座開設費	785
市民講座等講師謝金 (21人)	219
市民学級パンフレット印刷代(負担 市24,500部・福祉事業団24,500部)	148
市民学級パンフレット配布業務委託料	94
事務費等	324

市民講座の実施状況

事業名	(参考) R3 講座数	R4 講座数	R4 延開催数	R4 受講者数
市民学級				
一般講座	14	13	156 回	230 人
特別教養講座	4	8	29 回	214 人
子ども講座	4	4	28 回	70 人
提案型講座	7	7	15 回	104 人
その他自主事業	63	66	790 回	10,818 人
合計	92	98	1,018 回	11,436 人

開催場所：生涯学習センター、飯山総合学習センター他

各コミュニティ等で実施する地域いきいき講座、生涯学習クラブ活動の状況

施設名	地域いきいき講座		生涯学習クラブ			
	回数	延受講者数	クラブ数	会員数 (人)	活動回数 (回)	前年度活動 回数(回)
生涯学習センター			70	1,031	1,178	834
東小川公民館			8	100	302	219
飯山総合学習センター			16	230	418	320
小計			94	1,361	1,898	1,373

〔表の続き〕

城北コミュニティセンター	5	128	14	167	551	518
城西コミュニティセンター	13	796	15	229	747	521
城乾コミュニティセンター	7	156	9	106	211	199
城坤コミュニティセンター	13	434	16	261	760	509
城南コミュニティセンター	0	0	21	350	722	543
土器コミュニティセンター	11	327	19	260	649	550
飯野コミュニティセンター	2	53	7	114	259	155
川西コミュニティセンター	6	331	12	134	368	285
郡家コミュニティセンター	8	235	25	332	716	562
垂水コミュニティセンター	118	1,188	16	246	598	413
本島コミュニティセンター	8	218	0	0	0	0
広島コミュニティセンター	13	116	0	0	0	0
栗熊コミュニティセンター	26	499	10	129	221	169
岡田コミュニティセンター	18	998	25	369	924	609
富熊コミュニティセンター	9	589	16	278	525	250
飯山南コミュニティセンター	20	454	10	118	334	267
飯山北コミュニティセンター	36	1,011	19	314	399	252
コミュニティセンター小計	313	7,533	234	3,407	7,984	5,802
合 計	313	7,533	328	4,768	9,882	7,175

地域いきいき講座：313講座中23講座の講師謝金を予算より支出。

事業の成果・課題

市民学級については、初めてオンライン講座として子育て世代を対象とした講座を実施し、普段講座を受けることが難しい層へアプローチした。全体としては、新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、コロナ禍前の参加人数に戻りつつある。また、地域いきいき講座や生涯学習クラブについても同じく、参加人数は回復傾向にある。

今後とも、オンラインを活用するなど参加者が参加しやすい環境整備を行い、学習機会の提供に努める。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	8	資料館費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	------

1	事業名	資料館管理運営費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	46,136	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	48,075
R3	43,183						執行率
R2	39,549	0	0	0		46,136	95.97 %

事業の趣旨・目的

郷土の歴史・文化に関する調査・研究の成果を広く市民に公開し、歴史遺産の普及・啓発に努める。

実施事業の内容

職員給与等						22,205
資料館学芸委員報酬等 (5人)						43
会計年度任用職員報酬等 (2人)						5,044
光熱水費						4,252
印刷製本費						1,917
委託料						9,393
施設管理業務 (消防設備点検業務ほか 17件)				5,716		
運営業務 (害虫駆除業務ほか 2件)				250		
企画展示業務 (展示運搬等業務ほか 20件)				3,427		
備品費						333
図書費				11		
郷土資料				300		
その他				22		
負担金補助金						26
日本博物館協会会費ほか 2件				26		
事務費等						2,923

1階企画展示室 展示状況

展示名称	出品点数 (点)	開催日数 (日)	入場者 (人)	
			総数	1日平均
市民展 (書道)	62	2	462	231
開館50周年記念 資料館50年のあゆみ	199	38	2,768	73
開館50周年記念 丸亀城と城下町	142	35	4,043	116
開館50周年記念 表装の美	44	32	2,581	81
合計	447	107	9,854	92

2階常設展示室 展示状況

展示名称	出品点数 (点)	開催日数 (日)	入場者 (人)	
			総数	1日平均
生駒・山崎・京極の歴史と文化展 (常設展示)	57	288	15,728	55
今年の干支 虎・寅・トラ 大集合!!展	20	21	—	—
表現されたうちわの世界展	23	106	—	—
京極氏のルーツ佐々木氏資料展	6	97	—	—
表装の美 第二部	18	64	—	—
合計	124	288	15,728	55

2階ギャラリー 利用状況

展 示 名 称	出品点数 (点)	開催日数 (日)	入場者 (人)	
			総数	1日平均
荒木宏文氏サインとパネル展示	4	3	1,215	405

1階ロビー展 展示状況

展 示 名 称	出品点数(点)	開催日数(日)
変り兜	8	255
令和3年度 城西小4年生校外学習成果の展示	45	31
八朔だんご馬	3	4
資料館開館50周年記念動画公開	—	195
くらべてみよう! 現存12天守模型展	12	37

屋外民具展示室 展示状況

展 示 名 称	出品点数(点)	開催日数(日)
団扇・食・住・運搬用具関係民俗資料	203	294

企画展関連講演会・行事

名 称	入場者数 (人)	開催日数(日)
開館50周年記念 三浦正幸氏講演会 「未知と魅力に満ちた天下の名城丸亀」(マルタス)	100	1
文化協会表千家流茶道表讃会によるお茶会 (資料館ロビー)	150	1
合 計	250	2

資料館資料整備状況 (令和4年度末現在)

区分	歴 史 資 料				
	古文書 書籍	絵図・地図	絵画・版画	書・短冊	城関係
本年度増加数	130点	3点	12点	9点	0点
現在数	19,759点	894点	2,273点	1,709点	823点

民 俗 資 料		その他の資料			合 計
民俗資料	写真資料	考古資料	建 造 物	工芸品	
24点	5点	0点	0点	0点	183点
10,501点	2,637点	238点	159点	179点	39,172点

資料の特別利用及びレファレンス件数

特別利用 (閲覧・撮影・複写・貸出)	レファレンス等による調査・回答	合 計
47件	101件	148件

事業の成果・課題

令和4年度は、開館50周年を記念して通常より企画展の開催を増やしたほか、記念動画の制作や歴史講演会の開催など企画展の関連事業を積極的に実施したため、年間の来館者数が昨年度より増加した。

(単位:千円)

2	事業名	京極家資料調査・修復等事業費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	1,884	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,900
R3	2,486						執行率
R2	3,366	0	0	0		1,884	99.16 %
事業の趣旨・目的							
京極家ゆかりの資料を調査及び修復し広く公開することで、郷土丸亀の歴史教育の一端を担う。							
実施事業の内容							
	委託料						1,586
	京極家資料撮影業務					1,586	
	印刷製本費						298
事業の成果・課題							
これまでに修復を終えた京極家の絵図の内、利用頻度の高いものから撮影を行いデータ化することで、閲覧による原資料の劣化を防ぎ、郷土資料の調査・研究等利用の利便性を高めた。							

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	9	美術館費
1	事業名	美術館管理運営費				担当課	文化課	
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額	
R4	234,698	国支出金	県支出金	地方債	助成金等	一般財源	241,300	
R3	224,124						執行率	
R2	224,219	300	0	0	5,011	229,387	97.26 %	
事業の趣旨・目的								
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営に関する基本方針及び丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営ビジョンに基づき、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の管理運営を適正かつ効果的に実施する。								
実施事業の内容								
	修繕料						660	
	業務委託料						229,038	
	猪熊弦一郎現代美術館指定管理委託料					219,000		
	美術館指定管理委託料 (光熱水費追加分)					3,864		
	美術館所蔵フィルム等デジタル化業務委託料					4,649		
	美術館カフェ用備品補修業務委託料					650		
	芸術鑑賞支援業務委託料					875		
	補助金						5,000	
	地域の芸術環境づくり補助金							
事業の成果・課題								
<p>コロナ禍の影響がありつつも、瀬戸内国際芸術祭2022の会期を中心に来館があったことで、来館者数は57,260人となり、昨年度の39,566人と比べて大幅に増加した。新たに立ち上げた公募展「MIMOCA EYE/ミモカアイ」では、294組の応募があり、若手アーティストの活動を促す機会を提供できた。また、造形スタジオでのワークショップ等のほか、芸術鑑賞支援業務により子どもたちの来館を促し、文化芸術に触れる機会の回復・確保に寄与した。このほか、劣化のおそれのある35mmスライドフィルム15,920点をデジタルデータ化し、記録の保全を図った。</p> <p>引き続き「第2次丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営ビジョン」のもと、人々に愛され、親しまれる美術館を目指し、指定管理者と連携して効果的な運営に努めたい。</p>								
2	事業名	美術館施設整備費				担当課	文化課	
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額	
R4	993	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	7,500	
R3	—						執行率	
R2	—	0	0	700		293	13.24 %	
事業の趣旨・目的								
設備機器等の経年劣化に計画的な改修等を行い、適正な維持管理を実施する。								
実施事業の内容								
	【予算現額のうち翌年度繰越額】 (6,400)							
	工事費						993	
事業の成果・課題								
空調機中央管制装置について、経年劣化により停電時の維持管理に支障を来たすおそれがあったため、監視用機器等の改修工事を行った。なお、受配電設備保護継電器及び高圧遮断器の改修工事については、一部の資材調達に期間を要したため、次年度まで工期を延長した。								

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	12	史跡等整備費
1	事業名		史跡等整備基金積立金			担当課		財政課
	決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	49,872	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	49,872	
R3	31,700	0	0	0	45,530	4,342	執行率	
R2	38,000						100.00 %	
事業の趣旨・目的								
基金条例に基づき、基金の設置目的に沿った寄附金等を積み立て、後年度の事業に活用する。								
実施事業の内容								
史跡等整備基金積立金							49,872	
事業の成果・課題								
丸亀城応援募金・支援金やふるさと丸亀応援寄附金により集まった寄附金を丸亀城の復旧・整備に活用するため史跡等整備基金に積み立てており、令和4年度では、丸亀城の石垣修復や笠島伝統的建造物群保存修理などの財源として32,235千円を活用し、基金残高は1,508,992千円となった。 引き続き、寄附金を本基金に積み立て、丸亀城の石垣修復事業等の財源として計画的に活用を進める。								
2	事業名		文化財保護事業費			担当課		文化財保存活用課
	決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	21,228	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	21,408	
R3	19,403	0	0	0	162	21,066	執行率	
R2	19,229						99.16 %	
事業の趣旨・目的								
市内に所在する文化財の適切な保護に努めるとともに、文化財を研究・学習の教材や観光資源等として広く活用することにより、文化財保護に対する住民意識の高揚を図る。								
実施事業の内容								
文化財保護審議会委員報酬等 (文化財保護審議会委員5人、指定管理者選定委員1人)							43	
会計年度任用職員報酬等 (2人)							4,657	
印刷製本費							560	
修繕料							770	
委託料							4,723	
史跡塩飽勤番所跡指定管理委託料					3,400			
文化財草刈清掃業務委託料 (青の山古墳群、本島等)					975			
指定文化財道標案内板等設置委託料					292			
その他					56			
AED借上料 (丸亀城天守・塩飽勤番所跡・まち並保存センター)							107	
工事請負費 (塩飽勤番所西側駐車場舗装工事等)							2,742	
負担金					3件		75	

補助金		7,148
文化財保護協会補助金	400	
岡田おどり保存会補助金	51	
坂本念仏踊保存会補助金	280	
公益財団法人中津万象園保勝会補助金	5,000	
全国城跡等石垣整備調査研究会開催補助金	1,417	
事務費等		403

文化財保護事業の状況

事業名	回数等	場所	参加者数(人)
文化財保護審議会	1回	丸亀市立資料館会議室	委員5/回
文化財防火デー防火演習・防火査察	1回	中津万象園	36

事業の成果・課題

塩飽勤番所跡の指定管理者選定の他、同施設の適切な管理、運営を引き続き行った。また、塩飽勤番所の西側空地の寄附を受け、舗装整備を行い、懸案事項であった駐車場を確保した。

3	事業名	埋蔵文化財調査事業費(公共)			担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源に含む)				予算現額
R4	5,440	国支出金	県支出金	地方債	一般財源	5,457
R3	1,454	2,720	0	0	2,720	執行率
R2	2,000					99.69%

事業の趣旨・目的

文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為や史跡内の保存整備などを行う際に、あらかじめ範囲内の遺跡の有無を含めた確認調査等を実施し、市内遺跡の適切な保存、活用に努める。

実施事業の内容

印刷製本費	363
委託料	2,355
地形測量業務委託料	2,068
発掘作業業務派遣委託料	287
発掘用重機等借上料	1,946
工事請負費	552
事務費等	224

事業の成果・課題

市内の史跡や開発行為地内などの遺跡の確認調査6件と試掘調査7件を行い、遺跡保護に努めるとともに、それら発掘調査の成果を報告書として刊行した。

4	事業名	埋蔵文化財調査事業費 (単独)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	10,876	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	11,686
R3	21,764		9	0		10,867	執行率
R2	10,402	0					93.07 %
事業の趣旨・目的							
市内遺跡の適切な保護を図るため、調査により得られたデータを報告書として保存し、その公開や説明会などに活用することで埋蔵文化財への理解と保護の意識の高揚に努める。							
実施事業の内容							
【予算現額のうち翌年度繰越額】 (785)							
	埋蔵文化財調査員報酬等 (4人)						9,430
	労災保険料						35
	委託料						547
	測量業務委託料				220		
	発掘作業業務派遣委託料				327		
	デジタルトレース機器借上料						196
	印刷製本費						161
	事務費等						507
事業の成果・課題							
四国ガス事業所兼ショールーム建設予定地での発掘調査により検出された遺構や遺物の整理を行った。これらの成果をまとめた調査報告書の作成を行い、令和5年度に発刊する。							
5	事業名	埋蔵文化財整理事務所施設費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	1,000	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,053
R3	1,090		0	0			執行率
R2	854	0	0	0		1,000	94.97 %
事業の趣旨・目的							
埋蔵文化財整理事務所において、市内遺跡の出土遺物を収集・整理し、報告書の作成を行うとともに、適切な遺物の保管・展示を通して、埋蔵文化財の理解と啓発を図る。							
実施事業の内容							
	光熱水費						465
	修繕料						231
	警備業務委託料						213
	事務費等						91
事業の成果・課題							
埋蔵文化財整理事務所の適切な運営や維持管理に努め、出土遺物の整理・保管を行い、報告書の作成作業につなげることができた。							

6	事業名	城泊事業準備事業費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R4	7,101	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	7,590
R3	—						執行率
R2	—	0	0	0	7,101		93.56 %

事業の趣旨・目的

丸亀城三の丸にある延寿閣別館を歴史や文化を体験できる施設として整備し活用する。

実施事業の内容

技術指導報償費等 (1人)	51
城泊事業準備補助金	7,050
延寿閣別館耐震設計、改修設計等補助金	2,407
体験型・滞在型コンテンツ企画造成、事業計画作成等補助金	4,643

事業の成果・課題

丸亀市観光協会と連携して「城泊」へ向けた延寿閣別館の耐震改修設計や観光コンテンツの企画・造成、事業計画の作成、ならびに事業への理解促進を図るための市民向けセミナー「歴史資源を活用した観光まちづくりセミナー」を開催などし、各種事前準備事業を行った。

7	事業名	史跡丸亀城跡整備推進費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R4	21,700	国支出金	県支出金	地方債	天守入場料	一般財源	23,050
R3	18,110						執行率
R2	20,431	0	0	0	7,097	14,603	94.14 %

事業の趣旨・目的

史跡丸亀城跡の維持管理を行い、文化財として適切に維持・公開するとともに、観光資源としても活用できるよう整備する。

実施事業の内容

印刷製本費	1,303
修繕料	986
委託料	14,372
施設管理委託料	3件 670
業務委託料	8件 13,702
令和4年度天守入場者数	116,889人
使用料及び賃借料	4,291
車船借上料	132
PR館借上料等 (年間来館者数 16,648人)	4,159
事務費等	748

事業の成果・課題

天守入場者数は、3年ぶりに10万人を超えた。今後においても、観光客の増加が見込まれることから、各施設の修繕や外部委託による適切な維持管理に努めるとともに、石垣復旧事業におけるPR館での情報発信の充実など、観光資源や教育の場としても活用する。

8	事業名	まち並保存推進費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	4,246	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	4,931
R3	5,227						執行率
R2	5,484	0	0	0		4,246	86.11 %
事業の趣旨・目的							
丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区の適切な保存を行うとともに、研究・学習の場や観光資源等として広く活用することにより、文化財保護に対する住民意識の高揚を図る。							
実施事業の内容							
委員報酬等 伝統的建造物群保存地区保存審議会 (7人)							120
修繕料							364
笠島まち並保存センター等指定管理委託料							3,400
笠島まち並保存センター等借上料							292
事務費等							70
事業の成果・課題							
笠島まち並保存センターを含む保存地区3施設の指定管理者の選定を行った。本保存地区内では、住民の高齢化や過疎化に伴い、空き家など老朽家屋の修繕・管理が課題となっていることから、関係機関や市民団体等と連携し課題解決に努め、本島笠島のまち並み保存と観光資源としての活用に努める。							
9	事業名	丸亀城天守耐震診断事業費 (繰越明許費)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	10,420	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	10,543
R3	—						執行率
R2	—	5,278	0	0		5,142	98.83 %
事業の趣旨・目的							
多くの観光客が訪れる丸亀城天守の耐震診断等を実施することで、地震発生時等における安全性を確認する。							
実施事業の内容							
委員報酬等 丸亀城天守耐震対策専門部会 (4人)							150
業務委託料 重要文化財丸亀城天守耐震診断業務委託							10,270
事業の成果・課題							
天守建物の基礎となる天守台石垣についての耐震診断を行った。その結果を既に実施している天守建物の耐震診断結果と合わせ、丸亀城天守耐震対策専門部会に諮り、天守建物およびその石垣双方とも一定の耐震性を有しているとの結論に至った。							

10	事業名	丸亀城石垣保全調査事業費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R4	17,215	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	17,273
R3	32,066	6,149	0	0		11,066	執行率
R2	28,965						99.66 %
事業の趣旨・目的							
丸亀城石垣のうち最も高さのある三の丸北側において、石垣下部の地盤変位量、地下水位の観測調査を行い、安全性を確認するとともに各石垣のレーザー測量を行い、はらみや変形などの確認ならびにデジタル化を図る。							
実施事業の内容							
業務委託料							17,215
史跡丸亀城跡三の丸北石垣変位量計測業務委託						1,782	
史跡丸亀城跡三の丸南石垣他測量業務委託						12,298	
史跡丸亀城跡三の丸北水位・地盤変位観測業務委託						3,135	
事業の成果・課題							
昨年度に引き続き、三の丸北側石垣において、石垣下部の地盤変位や地下水位の上昇の有無を計測し、安全管理に努めた。現在の所、大きな変化は確認されていないが、今後も継続してこれらの調査を行い、現状を確認していく必要がある。また、三の丸南面の石垣においてレーザー測量を行い、はらみや変形などを確認するとともにデジタル化を図った。こちらについても引き続き未測量の石垣を対象に計画的に測量を行い、石垣の安全性の確認ならびにデジタル化を推進していく。							
11	事業名	古墳等整備推進費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R4	1,673	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,786
R3	2,329	0	0	0		1,673	執行率
R2	2,088						93.67 %
事業の趣旨・目的							
国指定史跡である快天山古墳の適切な維持管理を行うとともに周知啓発を行う。							
実施事業の内容							
業務委託料						4件	975
仮設トイレ借上料							90
工事請負費						1件	594
事務費等							14
事業の成果・課題							
樹木の剪定伐採や草刈、トイレ清掃等を行い、見学しやすい環境を維持するとともにパンフレットの増刷を行うなど本古墳の普及啓発に努めた。今後も適切な維持管理を行いながら実施される発掘調査で得た新たな情報を広く発信していく。							

12	事業名	丸亀城保存整備費 (公共事業)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	919	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	498,722
R3	4,910			900		19	執行率
R2	302,602	0	0				0.18 %

事業の趣旨・目的

崩落した三の丸坤櫓 (ひつじさるやぐら) 跡石垣と帯曲輪 (おびぐるわ) 南西部石垣を復旧する。また、延寿閣別館の耐震改修や庭園の整備を行い、歴史的建造物として城泊の宿泊施設として活用する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (497,803)

委員報酬等	903
丸亀城石垣復旧専門部会 (5人)	
事務費等	16

事業の成果・課題

主に帯曲輪石垣における崩落石、崩落土の回収ならびに三の丸石垣南面の追加解体を進めているが、回収石数の増加と石列や地山の状況などにより時間を要しており、慎重に確認しながら専門部会や文化庁との協議等を進め、事業の進捗を図っている。また、城泊事業実施に向けて延寿閣別館や庭園整備の他、運営方法等についても検討を進めていく。

13	事業名	丸亀城保存整備費 (公共・繰越明許費)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	395,078	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	395,090
R3	677,398					0	執行率
R2	86,912	279,978	10,000	105,100			100.00 %

事業の趣旨・目的

崩落した三の丸坤櫓 (ひつじさるやぐら) 跡石垣と帯曲輪 (おびぐるわ) 南西部石垣を復旧する。

実施事業の内容

委員報酬等	194	
丸亀城石垣復旧専門部会委員 (5人)		
建設関連業務委託料	5件	72,332
工事請負費	2件	322,552

事業の成果・課題

主に帯曲輪石垣における崩落石、崩落土の回収ならびに三の丸石垣南面の追加解体を進めているが、回収石数の増加と石列や地山の状況などにより時間を要しており、慎重に確認しながら専門部会や文化庁との協議等を進め、事業の進捗を図っている。

14	事業名	丸亀城保存整備費 (単独事業)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R4	21,094	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	21,700
R3	16,722	0	0	0	1,000	20,094	執行率
R2	10,829						97.21 %
事業の趣旨・目的							
崩落した三の丸坤櫓 (ひつじさるやぐら) 跡石垣と帯曲輪 (おびぐるわ) 南西部石垣を復旧する。							
実施事業の内容							
建設関連業務委託料						8件	14,130
工事請負費						8件	6,964
事業の成果・課題							
崩落した三の丸坤櫓跡石垣と帯曲輪南西部石垣の復旧に関連する付帯工事や業務委託を行うことで、事業の進捗を図った。							
15	事業名	まち並保存事業費 (公共事業)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R4	25,177	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源	26,229
R3	7,264	12,588	0	11,200	37	1,352	執行率
R2	14,848						95.99 %
事業の趣旨・目的							
丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区のまち並み整備を図るため、国庫補助を受け地区内の建物等の修理・修景を行うとともに、観光や学習機会の誘致により、活性化を図る。							
実施事業の内容							
業務委託料							269
建設関連業務委託料							983
工事請負費							23,925
事業の成果・課題							
伝統的建造物群保存地区内の防災計画に基づき、地区内に防火水槽 (耐震性貯水槽) 1基と消火器15基を設置した。							

16	事業名	まち並保存事業費 (単独事業)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	4,823	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	5,010
R3	3,756						執行率
R2	2,262	0	0	0		4,823	96.27 %
事業の趣旨・目的							
丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区のまち並みの復元整備を図るため、地区内の建物等の修理・修景のうち国庫補助の対象とならない小規模なものや突発的な工事を実施する。							
実施事業の内容							
笠島伝統的建造物群保存修理事業							
笠島伝統的建造物群保存修理事業補助金							4,494
保存修理事業 6件 修景事業 2件							
業務委託料							299
事務費等							30
事業の成果・課題							
市単独補助事業により、家屋等の保存修理事業を6件、修景事業を2件実施し、本島笠島のまち並みの保存、景観の維持に努めた。伝統的建造物群保存地区内を取り巻く環境は大きく変化し、地区内の高齢化や過疎化に伴い、空き家など、老朽家屋の管理が課題となっていることから、NPO法人などと連携し、所有者等に働きかけ、適正な保存と活用に努める。							
17	事業名	史跡快天山古墳整備事業費 (公共事業)				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	5,252	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	5,266
R3	2,580						執行率
R2	—	2,560	0	0		2,692	99.73 %
事業の趣旨・目的							
史跡快天山古墳の保存整備計画策定に必要な基礎資料として、埋葬施設や古墳前方部などにおける構造や保存状態などを発掘調査により確認する。							
実施事業の内容							
委員報酬等							560
史跡快天山古墳保存整備委員等 (7人)							
委託料							3,315
地形測量業務委託料						880	
樹木伐採業務委託料						297	
発掘作業業務派遣委託料						2,138	
工事請負費						1件	1,000
使用料及び賃借料							301
発掘用機器借上料							
事務費等							76
事業の成果・課題							
3基ある埋葬施設のうち2号石棺および3号石棺の保存状態を発掘調査により確認した。これにより、2号石棺南小口に新たなき裂が生じていることが判明した為、き裂の幅や長さなどの状態を定期的に確認し、石棺の保存方法の検証を行う。また、これら発掘調査に伴う市民説明会を開催し、多くの方に参加いただき、本古墳に対する理解と関心を高めることができた。							

18	事業名	市指定文化財整備事業費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R4	2,048	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,408
R3	1,270						執行率
R2	—	0	0	0		2,048	85.05 %
事業の趣旨・目的							
丸亀市指定文化財の適切な保護を図るため、保存修理等を行い、公開に適した状態に整備し、市指定文化財の普及啓発を行う。							
実施事業の内容							
報償費等							26
修繕料							42
建設工事関連委託料							1,980
事業の成果・課題							
市指定文化財の夫婦蔵において、白蟻や老朽化による傷みが著しい為、修理に向けた調査および設計を行った。							
19	事業名	丸亀城石垣保全整備事業費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R4	18,383	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	18,568
R3	13,176						執行率
R2	—	9,191	0	8,000		1,192	99.00 %
事業の趣旨・目的							
丸亀城石垣の適切な保全を行うための調査や対策の検討を行い、有効な対策を実施する。							
実施事業の内容							
報酬等							431
史跡丸亀城跡調査整備委員 (7人)							
建設工事関連委託料 (史跡丸亀城跡排水路整備測量設計業務委託)							3,454
工事請負費 (史跡丸亀城跡排水路等整備工事)							14,498
事業の成果・課題							
二の丸に排水路の設置ならびに園路舗装を行い、適切に雨水排水が行われるよう整備した。今後も計画的に雨水排水整備を行い、丸亀城石垣の適切な保全に努める。							

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	13	文化振興費
1	事業名				瀬戸内文化芸術支援事業費		担当課	文化課
	決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)				予算現額	
R4	3,866	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,059	
R3	3,376						執行率	
R2	777	0	0	0		3,866	63.81 %	
事業の趣旨・目的								
<p>美術を専攻する学生による滞在型制作活動を通して、文化芸術の振興を図るとともに、地域住民との交流により、離島の活性化に寄与することを目的とする。(HOTサンダルプロジェクト)</p>								
実施事業の内容								
県内旅費							14	
HOTサンダルプロジェクト事業業務委託料							3,843	
車船借上料							9	
事業の成果・課題								
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動の制限を行いつつも、島への受け入れを再開し、4大学から合計6名の学生が、広島、手島に滞在して作品制作を行った。作品発表会や展覧会も実施し、島民をはじめ、広く市民に鑑賞の機会を提供することができた。また、本事業をきっかけとして島に移住した「卒島生」が作品発表会の講評を担当するなど、事業継続を見据えた人材育成にも取り組んだ。</p> <p>現在、島しょ部において高齢化や人口減少などの問題が深刻化する中、本事業を通して若者の移住促進や島の魅力発信を行うなど、離島の活性化に向けたさらなる取組が必要となる。目的達成に向けて、庁内やその他関係機関と横断的な連携を深めながら、今後、「卒島生」が本事業の企画運営に主体的に関われる仕組みづくりなどに取り組みたい。</p>								
2	事業名				文化芸術振興事業費		担当課	文化課
	決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)				予算現額	
R4	12,087	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	12,554	
R3	11,481						執行率	
R2	8,489	0	0	0	449	11,638	96.28 %	
事業の趣旨・目的								
<p>文化芸術基本計画に基づき、市民を主体とした文化芸術施策の推進を目的とする。丸亀市文化協会の育成補助など文化団体の育成を図るとともに、文化芸術公演や文化芸術祭など幅広く市民に向けた文化振興事業を実施する。</p>								
実施事業の内容								
文化芸術推進審議会委員 (15人) 報酬 (3回)							238	
文化芸術推進審議会委員費用弁償							20	
業務委託料							8,966	
まるがめ文化芸術祭業務委託料						1,500		
文化振興事業委託料						7,466		
丸亀市文化協会運営育成事業補助金							2,690	
事務費等							173	

丸亀市文化振興事業協議会事業開催状況

事業名	事業内容・場所	回数等	来場者数
①文化財活用事業	横笛、箏等の演奏・丸亀城大手一の門	2回	100名
②瀬戸内国際芸術祭関連事業	コンサート(オーボエ等)・綾歌総合文化会館	1回	104名
③キッズウィーク「丸亀こどもデー」関連事業イベント	ワークショップ等・綾歌総合文化会館、市民交流活動センター	2回	479名
④MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト	マルシェ出店数 27店舗・猪熊弦一郎現代美術館ゲートプラザ	2回	3,000名
⑤まるがめ文化芸術祭事業	行事件数 36件	9~11月	—
⑥地域文化継承事業			
2022まるがめ第九プレコンサート	本願寺塩屋別院	1回	70名
2022まるがめ第九演奏会	綾歌総合文化会館	1回	667名
⑦若手芸術家支援事業	コンサート(ソプラノ)・綾歌総合文化会館	1回	120名
⑧芸術体験プログラム			
『デニムMusicLive!~ふらっと音楽のヨリミチ~』	市民交流活動センター	3回	273名
市役所ロビーコンサート・ロビー展	市役所ロビー	3回	48名
その他アウトリーチ	東小川児童センター、生涯学習センター、みんながオルデ通町	3回	141名
⑨文化振興講演会事業	寶月堂、中津万象園大ホール	2回	185名
⑩市民提案協働事業	市民交流活動センター、丸亀城大手一の門	2回	64名

丸亀市文化協会事業開催状況(委託事業)

事業名	事業内容・場所	回数等	来場者数
まるがめ文化芸術祭2022運営業務			
主催展覧会	書、華道等・生涯学習センター	2期	1,198名
主催公演	コンサート(合唱団)・綾歌総合文化会館	1回	707名

事業の成果・課題

丸亀市文化振興事業協議会及び丸亀市文化協会の事業について、コロナ禍からの回復が図れるよう積極的に実施したことにより、前年度に比べ参加人数が増加し、市民の文化芸術活動や鑑賞・体験の機会を拡充させることができた。

一方で、今後の文化芸術基本計画の推進にあたり、文化振興事業協議会に対し、芸術体験プログラム等において、福祉施設の入所者を対象にするなど、誰もが文化芸術に触れる機会の拡充を求める。また、文化協会においても同計画に沿った取組を進めるため、組織体制の見直しや事務局機能の強化等について協議を進めたい。

3	事業名	「津島寿一」文化振興補助金				担当課	文化課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	2,290	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源	2,290
R3	2,290	0	0	0	23	2,267	執行率
R2	833						100.00 %
事業の趣旨・目的							
<p>故津島寿一氏の遺志により、遺族からの寄附金を基に設立した文化体育振興基金を活用し、文化施策を実施する。事業内容は、文化協会事業への補助金であり、文化協会を通じて市民主体の文化振興事業を展開する。</p>							
実施事業の内容							
丸亀市文化協会文化事業補助金						2,290	
丸亀市文化協会事業開催状況							
	事業名	事業内容・場所			日数等	来場者数	
	丸亀お城まつり協賛市民展	絵画、陶芸等・生涯学習センター 茶道・保健福祉センター 書・市立資料館			2日	4,054名	
	うちわに描こう絵画展	応募点数 1,244点・生涯学習センター			16日	772名	
	芸能フェスタ丸亀2022	出演団体 28団体・綾歌総合文化会館			2日	408名	
	丸亀こどもデー関連事業	市民交流活動センター			1日	107名	
	あやうたふるさとまつり協賛事業	出演団体 9団体・綾歌総合文化会館			2日	644名	
	伝わらない文章から学ぶ わかりやすい! と唸らせる文章のコツ	市民交流活動センター			1日	31名	
	出前文化事業	生け花展示等・丸亀市内の公共施設			全17回	-	
事業の成果・課題							
<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、丸亀市文化協会の加入団体による作品展示や公演のほか、丸亀市文化振興協議会と協働で丸亀こどもデー関連事業などを実施した。文化芸術に触れる機会が減少していたが、事業の開催回数を増やすことで、市民主体による文化振興を図ることができたと考える。しかしながら、高齢化などにより会員が減少傾向にあるため、ワークショップを活用した事業やSNSでの情報発信のほか、中学校部活動の地域移行と連携した取組など若い世代の参加・参画につながる活動を検討するよう促したい。</p>							

4	事業名	瀬戸内国際芸術祭事業費				担当課	文化課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	50,937	国支出金	県支出金	地方債	寄附金等	一般財源	59,116
R3	14,303	2,800	0	0	8,024	40,113	執行率
R2	1,433						86.16 %

事業の趣旨・目的

瀬戸内国際芸術祭を円滑に実施し、島内外の活性化につなげる。

実施事業の内容

会 期	令和4年9月29日(木)～11月6日(日) 38日間 ※休島日(10/19)を除く
来 島 者 数	19,120人 (2019: 28,747人) ※作品展示会場への来場者数: 17,679人 (2019: 27,469人)
作 品 数	本島: 12作品 (うち新作4作品) 本土側: MIMOCA企画展・常設展 ※サテライト展示: 1か所 (マルタス)
公式イベント数	1作品 (4日間・6公演)

瀬戸内国際芸術祭負担金	9,978
瀬戸内国際芸術祭航路負担金 (本島⇄高見島⇄粟島)	394
瀬戸内国際芸術祭本島実行委員会補助金	9,813
業務委託料	28,700
案内看板設置業務委託料	602
作品管理等業務委託料	343
パンフレット製作業務委託料	619
瀬戸内国際芸術祭関連グッズ製作用業務委託料	2,267
瀬戸内国際芸術祭関連業務委託料	9,234
瀬戸内国際芸術祭シャトルバス運行業務委託料	4,791
瀬戸内国際芸術祭イベント開催等業務委託料	7,000
瀬戸内国際芸術祭事務支援等派遣業務委託料	2,901
芸術鑑賞支援業務委託料	943
事務費等	2,052

事業の成果・課題

瀬戸内国際芸術祭2022は、香川県や瀬戸内国際芸術祭本島実行委員会と協力しながら円滑に実施することができた。会場の本島では、入島前の検温等の新型コロナウイルス感染症対策を行ったほか、シャトルバスの運行等の移動手段の確保、休憩所の設置等の受入環境の整備を行うとともに、地元の方々による「送り太鼓」やワークショップ等のイベントや飲食の提供を行った。あわせて、ホームページやSNSでの情報発信により、多くの方々に来場していただけた。

また、本土側ではMIMOCAの企画による「スゴ! すぐろくプロジェクト 丸亀市通町商店街編」を実施したほか、広島では島に移住した若手芸術家と連携した「瀬戸内HOT広島プロジェクト」を開催する等、様々な関連事業によりまちなかや他の島への誘客につなげられた。

今後は、課題である会期外における誘客について、香川県が実施する「ART SETOUCHI」と連携し、芸術祭の既存作品を利用した鑑賞事業等を行いたい。また、瀬戸内国際芸術祭2025に向けて、作品鑑賞環境の整備や関係機関との連絡調整を行うほか、同年開催の大阪・関西万博に併せて外国人観光客の誘致を図る等の取組も進めたい。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	14	市民会館費
1	事業名		綾歌総合文化会館管理運営費			担当課	文化課	
	決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R4	60,942	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	61,277	
R3	52,636						執行率	
R2	69,393	9,400	0	0		51,542	99.45 %	
事業の趣旨・目的								
丸亀市綾歌総合文化会館の管理運営を適正かつ効果的に実施する。								
実施事業の内容								
綾歌総合文化会館指定管理委託料							50,400	
中央監視装置 (空調設備) 年間保守業務委託料							378	
芸術鑑賞支援業務委託料							9,471	
綾歌総合文化会館大ホール空調ダンパ制御改修工事費							693	
事業の成果・課題								
利用者数はコロナ禍時と比べると回復傾向にあり、令和4年度は99,361人 (令和3年度より約50%増) となった。								
コロナ禍においては、芸術鑑賞教室等の文化的行事が中止、延期され、児童の文化芸術体験機会が著しく失われた。文化芸術に触れる機会が増えることは、非認知スキルの向上や心身の健全な成長に大きく寄与するといわれていることから、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を活用し、芸術鑑賞機会を創出することで、市内の児童約2,000人の鑑賞につなげた。								
2	事業名		新市民会館整備事業費			担当課	文化課	
	決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R4	9,781	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	11,200	
R3	7,191						執行率	
R2	5,464	0	0	0	4,000	5,781	87.33 %	
事業の趣旨・目的								
市民の心豊かな生活と人々のつながりを「文化芸術」で創り出す公共的な使命を果たすとともに、地域社会が抱える諸問題に関わる社会機関となる文化施設を整備する。								
実施事業の内容								
会計年度任用職員報酬等 (1人)							1,483	
県外旅費							367	
業務委託料							7,134	
チラシ作成委託料							277	
課題解決型実践事業業務委託料							958	
文化芸術推進サポーター養成講座開催業務委託料							3,983	
アーティスト・コーディネーター育成業務委託料							1,143	
管理運営計画策定支援業務委託料							773	
事務費等							797	

事業の成果・課題																							
<p>新市民会館の設計と並行して、事業実施計画、施設運営計画、施設利用計画などをまとめた管理運営計画を策定した。</p> <p>課題解決型実践事業は、演劇的手法を用いて認知症を疑似体験しながら認知症に関する知識を深める講座を地域包括支援センターと共同で行うなど3事業を行った。サポーター養成講座については、講演会を5回開催し、市民が文化芸術と社会課題の関係性を考える機会とするとともに、開館後のボランティアのコーディネーター役を担うコアサポーターを養成する講座やワークショップを16回開催した。また、11月にはサポーターが企画した「古の響きとの出逢いコンサート」を中津万象園で開催し、実践的な運営のノウハウを習得する機会となった。また、ファシリテーター・コーディネーター養成講座を全5回開催し、座学やワークショップの形式で、様々な分野や課題と文化芸術をつなげる意味や手法を対話的、創造的に学ぶことで、地域に小さなコーディネーター等を増やしていくための事業を展開した。</p> <p>今後も、設置理念や事業方針に沿った事業を展開し、市民の皆さんに参加していただくことで、文化芸術の役割や効果を体験していただきながら、開館に向けた機運を高めていく。</p>																							
3	事業名	綾歌総合文化会館施設整備費			担当課	文化課																	
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)				予算現額																	
R4	7,403	国支出金	県支出金	地方債	一般財源	7,500																	
R3	37,713	0	0	2,600	4,803	執行率																	
R2	57,595					98.71 %																	
事業の趣旨・目的																							
<p>丸亀市綾歌総合文化会館の設備が老朽化・更新時期を迎えていることにより、設備改修に伴う設計業務委託及び改修工事を行い、適正な維持管理を行う。</p>																							
実施事業の内容																							
<table border="0"> <tr> <td>委託料</td> <td>642</td> </tr> <tr> <td>綾歌総合文化会館電話交換機他改修に伴う設備設計業務委託料</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td>綾歌総合文化会館電話交換機他改修に伴う設備監理業務委託料</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>綾歌総合文化会館小ホール簡易ステージ(処分品)運搬業務委託料</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>綾歌総合文化会館電話交換機他改修工事費</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>綾歌総合文化会館小ホール簡易ステージ購入費(簡易ステージ用スカート)</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>3,621</td> </tr> <tr> <td>綾歌総合文化会館小ホール簡易ステージ購入(簡易ステージ、ステップ)</td> <td>3,330</td> </tr> <tr> <td>無線アクセスポイント(大ホール用)2台</td> <td>291</td> </tr> </table>						委託料	642	綾歌総合文化会館電話交換機他改修に伴う設備設計業務委託料	253	綾歌総合文化会館電話交換機他改修に伴う設備監理業務委託料	290	綾歌総合文化会館小ホール簡易ステージ(処分品)運搬業務委託料	99	綾歌総合文化会館電話交換機他改修工事費	3,000	綾歌総合文化会館小ホール簡易ステージ購入費(簡易ステージ用スカート)	140	備品購入費	3,621	綾歌総合文化会館小ホール簡易ステージ購入(簡易ステージ、ステップ)	3,330	無線アクセスポイント(大ホール用)2台	291
委託料	642																						
綾歌総合文化会館電話交換機他改修に伴う設備設計業務委託料	253																						
綾歌総合文化会館電話交換機他改修に伴う設備監理業務委託料	290																						
綾歌総合文化会館小ホール簡易ステージ(処分品)運搬業務委託料	99																						
綾歌総合文化会館電話交換機他改修工事費	3,000																						
綾歌総合文化会館小ホール簡易ステージ購入費(簡易ステージ用スカート)	140																						
備品購入費	3,621																						
綾歌総合文化会館小ホール簡易ステージ購入(簡易ステージ、ステップ)	3,330																						
無線アクセスポイント(大ホール用)2台	291																						
事業の成果・課題																							
<p>施設内の電話交換機及び小ホールで使用していた簡易ステージを老朽化に伴い更新した。また、無線アクセスポイントを設置し、利用者のサービス向上に努めた。</p> <p>本館は開館から26年が経過しており、経年劣化による設備の更新のほか、休館を伴う改修工事の必要がある。また、市民の文化芸術活動の場を担保しながら計画的に実施する必要があることから、大規模改修については、新市民会館の供用開始後速やかに実施できるよう調整を進めた。</p>																							
4	事業名	新市民会館建設事業費			担当課	文化課																	
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)				予算現額																	
R4	52,915	国支出金	県支出金	地方債	一般財源	56,780																	
R3	1,444	0	0	4,400	48,515	執行率																	
R2	—					93.19 %																	
事業の趣旨・目的																							
<p>市民の心豊かな生活と人々のつながりを「文化芸術」で創り出す公共的な使命を果たすとともに、地域社会が抱える諸問題に関わる社会機関となる文化施設を整備する。</p>																							

実施事業の内容						
【予算現額のうち翌年度繰越額】 (1,200)						
委託料				43,385		
測量業務委託料				21,593		
発掘作業業務派遣委託料				15,753		
展示パネル等製作業務委託料				105		
建設工事関連委託料				5,934		
使用料及び賃借料				5,156		
機械借上料				3,552		
発掘用機器借上料				1,604		
工事請負費				3,301		
丸亀城跡(大手町地区)発掘調査に伴う安全柵の設置工事				763		
丸亀城跡(大手町地区)第8次発掘調査仮設電源設置工事				231		
市民会館建設埋文発掘調査に伴うアスファルト殻等撤去工事				990		
丸亀城跡(大手町地区)第8次発掘調査に伴う舗装版取壊工事				1,317		
事務費				1,073		
事業の成果・課題						
<p>新市民会館の設計に必要な避難安全検証法の大員認定を取得する業務委託を行うほか、建築確認申請に必要な新市民会館に併設するシビックロータリーの概略設計を行った。</p> <p>建設地である旧庁舎敷地では、埋蔵文化財調査を令和3年度から継続して実施しており、江戸時代の道路遺構や明治時代の陶磁器など、多くの遺構や遺物が検出された。発掘用機械の借上げのほか、発掘された遺構を測量計測し平面図化する業務委託などを行い、建築工事の着手に必要な調査等を完了した。</p>						
5	事業名	新市民会館建設事業費(繰越明許費)			担当課	文化課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源に含む)				予算現額
R4	346,839	国支出金	県支出金	地方債	一般財源	348,460
R3	4,698	0	0	222,300	124,539	執行率
R2	—					99.53%
事業の趣旨・目的						
市民の心豊かな生活と人々のつながりを「文化芸術」で創り出す公共的な使命を果たすとともに、地域社会が抱える諸問題に関わる社会機関となる文化施設を整備する。						
実施事業の内容						
	丸亀市(仮称)みんなの劇場新築に伴う地質調査(その2)業務委託料					4,929
	丸亀市(仮称)みんなの劇場新築に伴う土壌汚染調査業務委託料					2,695
	丸亀市(仮称)みんなの劇場基本設計・実施設計業務委託料					338,830
	新市民会館建設に伴う測量業務委託料					385
事業の成果・課題						
建物の基礎を検討をするための地質調査や周辺の地盤高測量などを行い、基本設計・実施設計が令和4年度末に完了した。令和7年9月の完成を目指して工事が遅滞なく進むよう取り組んでいく。						

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	15	学習センター費
---	----	-----	---	---	-------	---	----	---------

1	事業名	学習センター施設管理運営費				担当課	生涯学習課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	93,679	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	99,844
R3	87,490				611	93,068	執行率
R2	86,456						93.83 %

事業の趣旨・目的

生涯学習を総合的に推進するため、その中核的施設である「生涯学習センター」と「飯山総合学習センター」の管理運営を行う。

実施事業の内容

施設管理委託料		91,329
生涯学習センター指定管理委託料	61,310	
生涯学習センター指定管理委託料 (光熱水費追加分)	7,110	
飯山総合学習センター指定管理委託料	21,000	
飯山総合学習センター指定管理委託料 (光熱水費追加分)	1,470	
E V 充電設備保守点検委託料	439	
土地借上料		494
修繕料等		1,856

※生涯学習センター利用状況 (令和4年度開館日数は354日)

施設名	利用件数(件)	利用人数(人)
1階		
ギャラリー1	206	14,929
ギャラリー2	137	8,380
2階		
教養室	50	991
大広間	477	5,854
茶室	81	1,210
3階		
会議室	424	3,838
ホール	65	9,354
4階		
大広間	160	2,069
講座室1	249	8,408
講座室2	388	7,179
講座室3	396	8,656
講座室4	338	6,975
5階		
音楽室	589	6,993
視聴覚教室	472	5,848
小ホール	597	7,925
小計	4,629	98,609
社会教育関係団体室	239	429
児童館	301	10,783
児童館 (団体利用)	4	85
天体観測室	14	496
小計	558	11,793
合計	5,187	110,402

※飯山総合学習センター利用状況 (令和4年度開館日数は298日)

施設名	利用件数(件)	利用人数(人)
1階 香川放送大学丸亀教室	317	676
(学習室)	322	4,587
児童施設遊戯室・集会場	321	8,549
ロビー展示コーナー	113	2,520
2階 研修室	594	9,582
調理室	99	1,398
和室	306	2,696
合計	2,072	30,008

事業の成果・課題

新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、利用者数は回復傾向にある。しかしながら、マルタスなど新施設の建設や施設の老朽化等もあり、以前よりは全体的に利用が減少してきている状況である。

飯山総合学習センターについても施設の老朽化が進み、不良箇所が増えてきているため、安全で快適な施設利用ができるよう施設の維持管理を行うことが必要となっている。

2	事業名	飯山総合学習センター照明改修事業費			担当課	生涯学習課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)				予算現額
R4	6,688	国支出金	県支出金	地方債	一般財源	6,688
R3	—					執行率
R2	—	0	0	6,000	688	100.00 %

事業の趣旨・目的

飯山総合学習センターの照明改修工事を実施した。

実施事業の内容

飯山総合学習センター照明改修事業費	6,688
設計管理委託料	660
工事費	6,028

事業の成果・課題

飯山総合学習センター図書館部分の照明に不具合があったことから、照明器具の改修工事を予定どおり実施し、施設改善を図った。

款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	3	学校給食センター費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	-----------

1	事業名	学校給食センター管理運営費				担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)					予算現額
R4	572,705	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	588,065
R3	536,217						執行率
R2	511,812	0	0	0		572,705	97.39 %

事業の趣旨・目的

安全安心な学校給食を提供するため、給食センター4施設を維持管理し、適切な衛生管理を図るとともに、異物混入や食中毒対策など食の安全性を確保しながら、子どもたちに正しい食に関する知識と望ましい食習慣を育てていく。

実施事業の内容

学校給食センター施設費	187,262
学校給食センター運営費	385,443
職員給与等	131,965
会計年度任用職員報酬等 (36人)	56,728
中央及び飯山学校給食センター調理等業務委託料	177,738
学校給食管理システム保守業務委託料	4,094
配送業務委託料	6,091
その他	8,827

事業の実績

給食実施回数及び食数

	中央		第二		本島		飯山		計
	回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数	食数
幼稚園	191	17,965	191	20,466	—	—	—	—	38,431
こども園	231	50,619	—	—	—	—	220	29,921	80,540
小学校	199	552,653	198	451,383	192	1,903	199	220,376	1,226,315
中学校	194	301,447	189	141,564	186	2,112	193	93,567	538,690
センター	232	10,288	198	7,350	193	576	199	4,865	23,079
計	—	932,972	—	620,763	—	4,591	—	348,729	1,907,055

給食費(1食当たりの単価)

幼稚園・こども園	0円 (教職員 210円)
小学校	250円
中学校	280円

アレルギー対応給食実施状況

「丸亀市食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、中央及び第二学校給食センターで代替食及び除去食を実施している。

実施対象食品	鶏卵、牛乳、果物 (キウイ・メロン・バナナ)
実施校数	18校 (小学校13校 中学校2校 こども園2園 幼稚園1園)
実施児童数	47名 (小学校42名 中学校2名 こども園2名 幼稚園1名)

・残菜率

(単位:%)

	中央			第二			本島		飯山		
	幼稚園 こども園	小学校	中学校	幼稚園	小学校	中学校	小学校	中学校	こども園	小学校	中学校
年平均	5.5	6.3	6.2	3.9	3.7	8.3	0.0	0.0	11.4	3.7	5.8

・丸亀市学校給食センター運営委員会

【委嘱期間】令和4年6月1日～令和5年5月31日

【開催日】令和4年6月30日・令和5年1月12日

事業の成果・課題

子どもたちに安全安心でおいしい学校給食を円滑に提供するとともに、異物混入などが起きないように衛生・安全管理を徹底している。また、望ましい食習慣の形成と、日本の伝統的な食文化である「和食」の継承を目的として、月1回米飯給食の回数を増やした。

施設管理としては、新第二学校給食センターの整備基本計画の策定及び民間活力導入可能性調査の業務委託など、令和9年度の供用開始に向けて準備を進めている。

2	事業名	学校給食費公会計事業費					担当課	教育部総務課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源を含む)						予算現額
R4	530,634	国支出金	県支出金	地方債	学校給食費等	一般財源	546,176	
R3	521,601	106,022	0	0	340,297	84,315	執行率	
R2	—						97.15 %	

事業の趣旨・目的

給食物資については、良質、安全、安価な物資を適正に調達するため、丸亀市学校給食物資選定委員会を毎月開催する。また、日々の給食物資の荷受けに当たっては、品質や鮮度などの検収体制の強化に努める。

学校給食費の徴収については、保護者負担の公平性の原則に立ち、現年分の徴収と滞納者への納付促進に努める。

実施事業の内容

※一般財源のうち、地方消費税交付金23,000を充当

会計年度任用職員報酬等 (3人)	6,812
賄材料費	362,400
香川県給食会負担金 (パン、牛乳)	155,247
中讃広域行政事務組合負担金	4,430
その他	1,745

・令和4年度学校給食費の徴収状況

	調定額 (円)	徴収済額 (円)	未納額 (円)	徴収率 (%)
現年度	341,812,972	340,297,275	1,515,697	99.56
過年度	3,389,648	2,279,958	1,109,690	67.26

・丸亀市学校給食物資選定委員会 毎月10日前後に開催 (翌月の学校給食物資の選定)

令和5年度丸亀市行政評価
内部評価（1次評価）結果報告書

令和5年8月

丸亀市市長公室秘書政策課

令和5年度行政評価 内部評価（1次評価）について

令和5年度の行政評価は、令和4年度に実施した事業を対象とし、第二次総合計画の施策体系の枠組みで評価を行っています。

評価の見方については、下記のとおりです。

【成果指標の推移】

第二次総合計画で定めた31の基本施策に連動した重点プロジェクトごとに成果指標を設定し、年度ごとに推移を示すこととしています。

既に目標値をクリアした成果指標について、目標値を修正した場合は、二段書きの下段に当初の目標値、上段に新たな目標値を記載しています。

【施策評価】

31の基本施策ごとに、各施策を所管する部長が、成果指標の進捗度や事務事業評価を踏まえて、5段階の自己評価を行いました。また、担当部長が考える評価の根拠及び改善策についても記載しています。

【事務事業評価】

すべての予算事業について、各事業を所管する課長が5段階の自己評価を行いました。評価については「令和4年度 主要施策の成果に関する報告書」に基づいて実施しており、予算事業番号や該当ページについても掲載しています。

★評価基準

施策評価及び事務事業評価の5段階の評価基準は以下のとおりです。

- A 計画を大きく上回る成果が出ている
- B 計画をやや上回る成果が出ている
- C 計画どおりの成果が出ている
- D 計画をやや下回る成果となっている
- E 計画を大きく下回る成果となっている

施策評価・事務事業評価結果一覧

※事務事業評価には、施策評価を実施している担当部局に該当する事業数を計上しています。
 ※右端に掲載ページを表記しています。

第二次総合計画体系		施策評価		事務事業評価					掲載 ページ		
基本方針	基本施策			A	B	C	D	E			
I	心豊かな 子どもが育つ	1	子どもの教育の充実	市民生活部 教育部	C C		1 51			1	
		2	子育て支援の充実	健康福祉部 教育部	C C		19 17	2		4	
II	安心して 暮らせる	3	環境に配慮した社会づくり	市民生活部 都市整備部 産業文化部	C C C		7 1 2			7	
		4	廃棄物の適正処理と再資源化	市民生活部	D		11			9	
		5	緑のまちづくりの推進	都市整備部 教育部	C C		2 2	1		10	
		6	土地利用と住環境の充実	市民生活部 都市整備部 産業文化部	C C C		7 10 2			11	
		7	公共交通の充実と離島振興	市民生活部 都市整備部	C C		1 1	5		13	
		8	道路環境の整備	都市整備部	C			26		15	
		9	生活排水処理施設の整備	都市整備部	C			3		17	
		10	災害に強い都市基盤の整備	都市整備部	C			26		18	
		11	危機管理体制の強化	市長公室	C			6		20	
		12	消防・救急体制の充実	消防本部	C			11	1	21	
		13	交通安全・生活安全の充実	市長公室	C			3		22	
		III	活力みなぎる	14	農林水産業の振興	産業文化部・農業委員会事務局	C		23		23
				15	商工業の振興	産業文化部	C		13		25
16	観光・交流の促進			市長公室 産業文化部	C C		1 3		27		
IV	健康に暮らせる	17	地域保健・医療の充実	健康福祉部	C		11		28		
		18	高齢者福祉の充実	健康福祉部	C		15		30		
		19	障がい者福祉の充実	健康福祉部	C		9		32		
		20	暮らしを支える福祉の充実	健康福祉部	C		19		33		
V	みんなで作る	21	歴史的資源の保存と活用	教育部	D		17	3	35		
		22	文化芸術の振興	産業文化部	C	2	8	1	37		
		23	生涯学習活動の推進	市民生活部	C		10		39		
		24	スポーツの振興	市民生活部	C	1	9	2	41		
		25	人権尊重社会の実現	総務部 教育部	C C		9 1		42		
		26	男女共同参画社会の実現	総務部	C		1		43		
		27	情報発信と地域情報化	市長公室 総務部	C C		3 5		44		
		28	市民参画と協働の推進	市長公室 市民生活部 議会事務局 選挙管理委員会事務局	C C C C		3 3 1 5		46		
		29	地域コミュニティの活性化	市民生活部	D		5	1	48		
		30	財政運営の効率化	市長公室 総務部 ポータルサービス事業局 会計課	C C A C		1 21 1		49		
		31	行政運営の最適化と広域連携の 推進	市長公室 総務部・監査委員事務局 市民生活部	C C C		14 20 6		51		

施策評価結果 A : 1、B : 0、C : 46、D : 3、E : 0

事務事業評価結果 A : 1、B : 5、C : 450、D : 11、E : 0

基本方針	I	心豊かな子どもが育つ
基本施策	1	子どもの教育の充実

目指す姿	地域、家庭、学校、行政が協力し、まち全体が一体となって子どもを育てる環境を充実させながら、主体性と公共性を備えた豊かな人格の子どもの育成を図ります。							
	指標内容	基準値 2020	進捗状況 2021 2022 2023 2024 2025				目標値 2025	
成果指標の推移	No.1 コミュニティ・スクールの推進、No.58 地域学校協働活動の推進							
	学校が楽しいと感じる児童生徒の割合 (①小学生、②中学生)	①91.5% ②89.4%	①91.7% ②89.7%	①91.6% ②88.1%				①93% ②91%
	地域との関わりがあると感じる児童生徒の割合 (①小学生②中学生)	①66.9% ②43.4%	①67.5% ②45.0%	①73.7% ②46.8%				①70% ②50%
	No.2 GIGAスクール構想の推進							
	授業が分かると感じる児童生徒の割合 (①小学生②中学生)	①90.5% ②84.4%	①91.9% ②82.6%	①91.3% ②80.9%				①92% ②86%
	No.3 教職員の働き方改革の推進							
	教職員の時間外勤務時間の削減率	—	10%	13%				25%
	No.4 学校施設的环境整備							
	長寿命化改修等の整備件数（計画期間中の累計）	—	0件	1件				7件
	No.5 学校給食による食育の充実							
	地産交流会の実施回数	11回 (2019)	14回	13回				12回
	No.42 小児生活習慣病予防対策の推進（再掲）							
	小児生活習慣病予防健診の二次健診受診率 (①小学生②中学生)	①59.1% ②48.7%	①62.8% ②50.6%	①50.9% ②28.3%				①65% ②55%
	No.63 インターネットによる人権侵害対策（再掲）							
	校長会等を通じた周知啓発回数	1回	2回	3回				3回

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
市民生活部	C	親子都市である京極町との交流事業やキャンプ・海釣り体験を実施し、日常生活では得られない体験の機会を提供することができた。今後とも、多方面の協力を得ながら、子どもたちの豊かな成長に努めていきたい。
教育部	C	<p>学校施設では、長寿命化計画に基づいた整備に取り組み、安全対策や環境改善を図るとともに、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の就学支援に努めるなど、義務教育の円滑な実施に励んでいる。</p> <p>学校給食では、DVDの活用や対面による地元生産者と児童等との地産交流会の実施により、食への感謝の気持ちを育み、食への理解の促進に努めている。また、第二学校給食センターの建替えについては、令和9年度の供用開始を目指し準備を進めている。</p> <p>学校教育では、授業が分かると感じる児童生徒の割合が低下しており、1人1台端末を有効活用するなど授業改善の工夫が必要である。また、教職員の働き方改革を継続して推進するとともに、地域学校協働活動の充実により、地域とともにある学校づくりに取り組んでいく。</p> <p>幼稚園については、保護者の多様な就労形態に対応すべく、一時預かりを実施しているが、就園児童の減少が続いているため、施設の改修時期に合わせ、統廃合や認定こども園への移行などを引き続き検討する。</p>

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業				主要な成果 該当ページ
款 2 総務費		項 1 総務管理費	目 25	新型コロナウイルス感染症対策費		
幼保運営課 C	6	介護・障害・保育施設等支援事業費			87	
款 10 教育費		項 1 教育総務費	目 1	教育委員会費		
教育・総務課 C	1	教育委員会費			263	
款 10 教育費		項 1 教育総務費	目 2	事務局費		
教育・総務課 C	1	事務局管理費			264	
学校教育課 C	1	事務局管理費			264	
教育・総務課 C	2	私学等振興費			264	
款 10 教育費		項 1 教育総務費	目 3	教育振興費		
学校教育課 C	2	教育研究所管理費			265	
学校教育課 C	3	教育情報化推進費			266	
学校教育課 C	4	日本語適応支援教室事業費			266	
学校教育課 C	5	学校教育サポート事業費			267	
学校教育課 C	6	小中・地域連携教育推進事業費			268	
款 10 教育費		項 2 小学校費	目 1	学校管理費		
教育・総務課 C	1	小学校管理運営費			270	
学校教育課 C	1	小学校管理運営費			270	
学校教育課 C	2	児童指導推進費			271	
学校教育課 C	3	いじめ等対策事業費			271	
学校教育課 C	4	児童指導充実費			272	
学校教育課 C	5	教職員等研修費			272	
学校教育課 C	6	英会話推進事業費			273	
学校教育課 C	7	人権教育フィールドワーク事業費			273	
学校教育課 C	8	学校図書館教育推進事業費			274	
款 10 教育費		項 2 小学校費	目 2	教育振興費		
教育・総務課 C	1	教育振興費			275	
学校教育課 C	1	教育振興費			275	
款 10 教育費		項 2 小学校費	目 3	学校建設費		
教育・総務課 C	1	小学校建設費（単独事業）			276	
教育・総務課 C	2	小学校建設費（公共事業）			277	
教育・総務課 C	3	小学校建設費（繰越明許費・単独事業）			277	
教育・総務課 C	4	小学校建設費（繰越明許費・公共事業）			278	
款 10 教育費		項 3 中学校費	目 1	学校管理費		
教育・総務課 C	1	中学校管理運営費			279	
学校教育課 C	1	中学校管理運営費			279	
学校教育課 C	2	生徒指導推進費			280	
学校教育課 C	3	生徒指導充実費			280	
学校教育課 C	4	教職員等研修費			281	
学校教育課 C	5	人権教育フィールドワーク事業費			281	
学校教育課 C	6	学校図書館教育推進事業費			282	
学校教育課 C	7	外国語指導助手招致事業費			282	
款 10 教育費		項 3 中学校費	目 2	教育振興費		
教育・総務課 C	1	教育振興費			283	
学校教育課 C	1	教育振興費			283	
款 10 教育費		項 3 中学校費	目 3	学校建設費		
教育・総務課 C	1	中学校建設費（単独事業）			284	
教育・総務課 C	2	中学校建設費（繰越明許費・単独事業）			284	
教育・総務課 C	3	中学校建設費（繰越明許費・公共事業）			285	

款	10	教育費	項	4	幼稚園費	目	1	幼稚園費	
教育・総務課	C	1			幼稚園管理運営費				286
幼保運営課	C	1			幼稚園管理運営費				286
幼保運営課	C	2			幼稚園教育研究事業費				287
幼保運営課	C	3			私立幼稚園等運営費				287
幼保運営課	C	4			私学等振興費				288
款	10	教育費	項	4	幼稚園費	目	2	幼稚園建設費	
教育・総務課	C	1			各幼稚園施設補修費				289
款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費	
生涯学習課	C	5			少年教育事業費				293
学校教育課	C	12			P T A活動推進費				298
学校教育課	C	13			教育対策事業費				298
款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	4	少年育成センター費	
学校教育課	C	1			少年育成センター運営事業費				301
学校教育課	C	2			少年育成センター活動事業費				301
款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	3	学校給食センター費	
教育・総務課	C	1			学校給食センター管理運営費				341
教育・総務課	C	2			学校給食費公会計事業費				342
教育・総務課	C	3			学校給食センター施設等整備費 (単独事業)				343

基本方針	I	心豊かな子どもが育つ
基本施策	2	子育て支援の充実

目指す姿	行政、事業者など地域社会と家庭が力を合わせて、全ての子どもの明るく健やかな成長を支え、安心して子どもを産み育てられるまちの実現を目指します。							
	指標内容	基準値 2020	進捗状況				目標値 2025	
成果指標の推移	No.6 待機児童の解消							
	待機児童数（①4月1日、②10月1日時点）	①0人 ②66人	①0人 ②53人	①0人 ②63人				①0人 ②0人
	幼稚園・保育所・こども園の統廃合件数	—	—	—				2件
	No.7 子育て世帯の負担軽減							
	一時預かり事業の実施箇所数	7か所	7か所	7か所				8か所
	病児・病後児保育の実施箇所数	1か所	1か所	1か所				2か所
	ファミリー・サポート・センターの登録者数	1,144人	1,128人	1,072人				1,200人
	No.8 放課後児童対策の充実							
	青い鳥教室の待機児童数	0人	0人	0人				0人を維持
	No.9 まる育サポートの充実							
	まる育サポート相談件数	402件	1,004件	1,047件				1,000件
	妊娠届出時の面接実施率	97.8%	97.6%	98%				100%
	No.10 発達障がい児支援の充実							
	発達障がいにかかる巡回カウンセリング対象園数	39園	39園	39園				40園
	No.11 DV及び児童虐待防止の推進							
	DV相談受付件数	43件	83件	88件				80件
	児童虐待相談受付件数	1,719件	1,748件	1,992件				2,000件
	児童虐待の終結件数の割合	45.8%	43.1%	51.2%				50%
	No.12 子どもの貧困対策の推進							
子どもの居場所箇所数	3か所	3か所	10か所				12か所 (6か所)	

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
健康福祉部	C	<p>1歳の誕生月に「バースデイセット」を届けて、悩みごとなどが相談や支援につながるよう、経済的支援に加え、乳幼児健診のない時期の家庭の見守りを行った。</p> <p>また、「子ども食堂・居場所づくりネットワーク会議」を構築し、運営団体の情報共有、多機関との連携が図れるよう支援を行っている。今後は、地域のなかで子どもだけでなく多世代交流の場としても地域住民がつながるように取り組んでいく。</p> <p>また、育サポートの相談対応においては、専門相談員の常駐に加えて、保育士の常駐など相談体制の充実を図った。また、相談対応にあたっては、要保護児童対策地域協議会における実務者会議や個別ケース検討会議などを通じて、関係機関ときめ細やかな対応に努めており、今後も更なる連携体制の強化を図りながら、継続していく。</p>
教育部	C	<p>保育事業については、年度当初の待機児童数0人を継続できているが、途中入所の希望者が多く、年度途中に待機児童が発生する状況にあるため、引き続き、保育士確保や離職防止対策など待機児童対策に取り組んでいく。また、老朽化した施設の更新や補修に取り組むとともに、施設の改修時期に合わせ統廃合などを検討するほか、私立園等の安心安全な保育運営等を支援する。</p> <p>放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）は、待機児童0人を継続できているが、利用児童数は増加傾向のため、支援員の確保や受入環境の改善・充実に取り組んでいる。</p>

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業				主要な成果 該当ページ
款 2 総務費		項 1 総務管理費	目 25	新型コロナウイルス感染症対策費		
子育て支援課	C	6 介護・障害・保育施設等支援事業費			87	
子育て支援課	C	7 子育て世帯生活支援特別給付金事業費			88	
子育て支援課	C	8 香川県子育て世帯生活支援特別給付金支給事業費			89	
款 3 民生費		項 2 児童福祉費	目 1	児童福祉総務費		
子育て支援課	C	1 児童福祉管理費			134	
子育て支援課	C	2 子ども・子育て支援事業計画推進事業費			134	
子育て支援課	C	3 家庭・児童相談事業費			136	
子育て支援課	C	4 児童館管理運営費			137	
子育て支援課	C	5 ファミリーサポートセンター事業費			138	
子育て支援課	C	6 子育て支援事業費			138	
子育て支援課	C	7 子育て短期支援事業費			140	
子育て支援課	C	8 児童、母子援護費			140	
子育て支援課	C	9 児童扶養手当支給事業費			142	
子育て支援課	C	10 病児・病後児保育事業費			142	
子育て支援課	C	11 多子世帯出産祝金支給事業費			143	
子育て支援課	C	12 児童福祉施設整備促進事業費			143	
子育て支援課	C	13 子どもの居場所事業費			143	
款 3 民生費		項 2 児童福祉費	目 2	児童措置費		
子育て支援課	C	1 児童手当給付費			144	

款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	3	保育所及びこども園費	
教育・総務課	C	1			保育所及びこども園管理運営費				145
幼保運営課	C	1			保育所及びこども園管理運営費				145
幼保運営課	C	2			私立保育園等運営費				146
幼保運営課	C	3			私立保育園等援助費				148
教育・総務課	C	4			子育て支援事業費				149
幼保運営課	C	4			子育て支援事業費				149
幼保運営課	C	5			保育所等職員教育研究事業費				149
幼保運営課	C	6			発達障害児支援協働事業費				150
幼保運営課	C	7			保育士確保対策事業費				151
款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	4	保育所及びこども園建設費	
教育・総務課	D	1			市立保育所及びこども園施設整備事業費（単独事業）				152
教育・総務課	C	2			市立保育所及びこども園施設整備事業費（単独事業・繰越明許費）				152
教育・総務課	C	3			市立保育所及びこども園施設整備事業費（公共事業）				153
教育・総務課	C	4			私立認可保育園施設整備事業費				153
教育・総務課	C	5			私立地域子育て支援センター施設整備事業費				154
教育・総務課	D	6			金倉保育所送迎用駐車場整備事業費				154
款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費	
健康課	C	2			母子保健事業費				158
健康課	C	3			出産・子育て応援交付金事業費				160
款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費	
教育・総務課	C	8			放課後子どもプラン事業費				295
教育・総務課	C	9			留守家庭児童会施設整備事業費（公共事業）				296
教育・総務課	C	10			留守家庭児童会施設整備事業費（単独事業）				297
教育・総務課	C	11			放課後留守家庭児童会ICT化推進事業費				297

基本方針	Ⅲ	活力みなぎる
基本施策	15	商工業の振興

目指す姿 成果指標の推移	地域産業の成長を支援するとともに、企業を支える人材確保に向け、地元企業の魅力をアピールし、若者、女性、高齢者、あらゆる世代が働き活躍できる環境づくりを目指します。							
	指標内容	基準値		進捗状況				目標値
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2025
	No.33 産業教育の充実							
	地元企業PR事業実施校数	4校	5校	5校				市内全中学校
	No.34 インターンシップの充実							
	中讃圏域内採用内定者数（計画期間中の累計）	2人	—	0人				20人
	No.35 企業立地の促進							
	企業立地促進奨励金交付件数（制度開始時からの累計）	28件	38件	43件				52件
	No.36 地域製品の販路拡大支援							
	産業振興支援補助金補助件数（計画期間中の累計）	3件	4件	2件				21件
	No.37 地場・伝統産業の振興							
	うちの生産本数	1億6,386万本(H30.9～R1.8)	4,053万本(R2.9～R3.8)	未確定				1億6,000万本(R6.9～R7.8)
No.38 創業・第二創業等の支援								
創業相談件数	25件	32件	34件				30件	
空き店舗率	34.4%	31.8%	29.7%				27.9%	

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
産業文化部	C	<p>新型コロナウイルスや物価・原油価格高騰の影響を受けている宿泊事業者や公共交通等事業者、貨物運送事業者に給付金を交付することにより、事業者の事業継続の支援が行えた。</p> <p>また、産業振興支援補助金や空き店舗・空きオフィス等活用促進補助金の交付による事業者支援のほか、創業塾の実施等による創業支援、中学生を対象に地元企業の魅力を伝える地元企業PR事業や地域経済の発展及び雇用機会の拡大に寄与する企業立地促進奨励金を交付した。</p> <p>引き続き、企業訪問などにより、企業の現状及びニーズの把握に努め、より効果的な施策を迅速に展開し、事業者が経営しやすい環境を整えていく。</p> <p>このほか、老朽化した「うちの港ミュージアム」を中津万象園内に移転し、令和5年3月25日にリニューアルオープンした。今後は双方が連携し、個々の観光資源が持つ魅力の相乗効果を発揮させ、集客増加を図っていく。</p>

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業			主要な成果 該当ページ
款 2 総務費		項 1 総務管理費	目 25	新型コロナウイルス感染症対策費	
産業観光課	C	15	宿泊事業者支援事業費		92
産業観光課	C	16	公共交通等利用回復緊急支援事業費		93
産業観光課	C	17	貨物運送事業者支援事業費		93
款 5 労働費		項 1 労働諸費	目 1	労働諸費	
産業観光課	C	1	中讃勤労者福祉サービスセンター管理運営負担金		189
産業観光課	C	2	勤労者福祉資金貸付事業費		189
款 7 商工費		項 1 商工費	目 1	商工総務費	
産業観光課	C	1	商工管理費		210
款 7 商工費		項 1 商工費	目 2	商工業振興費	
産業観光課	C	1	商工業振興管理費		210
産業観光課	C	2	産業振興対策事業費		211
産業観光課	C	3	商工業振興事業費		212
産業観光課	C	4	商工業振興融資事業費		212
産業観光課	C	5	丸亀うちわ産業発展支援事業費		213
産業観光課	C	6	うちの港ミュージアム移転事業費		214
産業観光課	C	7	商店街施設整備事業費		214

基本方針	Ⅲ	活力みなぎる
基本施策	16	観光・交流の促進

目指す姿 成果指標の推移	民間や広域との連携を強化しながら、本市の魅力ある観光資源の積極的な活用や効果的なプロモーションを展開し、交流人口の回復・拡大を目指します。また、国際交流協会と連携し、相談・啓発事業の充実や多文化共生につながる交流の促進に努めます。							
	指標内容	基準値 2020	進捗状況				目標値 2025	
		2021	2022	2023	2024	2025		
	No.39 丸亀版DMOの推進							
	市を訪れた観光客数	294.5万人 (R1)	235.3 万人	348.7 万人				360 万人
	市内宿泊施設の宿泊者数	49.4万人 (R1)	31.7 万人	47.4 万人				61.5 万人
	1人あたり旅行消費額 (宿泊①なし②あり)	①3,481円 ②16,715円	①4,459円 ②22,853円	①3,845円 ②17,276円				①3,634円 ②17,955円
来訪者満足度	30.7%	30.3%	61.0%				36.6%	
リピーター率	37.0%	58.8%	33.0%				44.1%	

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
市長公室	C	コロナ禍で様々な制約がある中、創意工夫しながら事業実施に取り組み、国際交流については可能な手法で友好都市との交流の継続に努めた。今後は、新たな姉妹都市であるヴィリッヒ市との交流も含め、より効果的な交流方法を検討し、丸亀市の国際化を推進していきたい。また、在留外国人への日本語支援や相談支援、交流事業の実施など、引き続き多文化共生社会の実現へ向けた取組を進める。
産業文化部	C	新型コロナウイルス感染状況を見極めながら、コロナ対策を施した上で、県内外から誘客できるイベントを行った。 今後、アフターコロナに向け市観光協会や広域観光協議会と連携し、本市の地域資源をブラッシュアップするとともに、滞在・回遊型観光を推進する。更に、国内外に向けた丸亀の魅力発信事業としてシティセールスの実施やマルカメラを活用し、本市のPRとインバウンドも含めた本市への入込客数の増加に努める。

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業	主要な成果 該当ページ
款 2 総務費		項 1 総務管理費	
目 15 国際交流費			
秘書政策課	C	1 国際交流事業費	67
款 7 商工費		項 1 商工費	
目 3 観光費			
産業観光課	C	1 観光宣伝費	215
産業観光課	C	2 観光振興事業費	215
産業観光課	C	3 観光開発事業費	217

基本方針	V	みんなでつくる
基本施策	21	歴史的資源の保存と活用

目指す姿 成果指標の推移	丸亀城をはじめとする文化財を適切に保存し、次世代への継承を図りながら、有効に活用する取組を推進します。							
	指標内容	基準値 2020	2021	進捗状況 2022 2023 2024			2025	目標値 2025
	No.52 丸亀城の石垣整備							
	丸亀城の石垣整備	—	32%	37%				70%
	No.53 文化財の保存・活用							
	市指定文化財の修理件数（計画期間内の累計）	5件 (H29～R2)	2件	2件				6件 (R4～R7)
	丸亀城天守入場者数	124,287人 (R1)	61,890 人	116,889 人				170,000 人
	資料館の入館者数	28,419人 (R1)	26,399 人	27,047 人				30,000 人
	笠島まち並保存センター・塩飽勤番所への来訪者数	5,809人 (H29～R1)	1,471 人	6,388 人				7,000人 (R5～R7)

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
教育部	D	<p>丸亀城の石垣復旧工事は、地中深くまで石垣が築かれていたため、崩落石の回収数が想定の2倍近くに増えたことなどから、工事内容を見直し、竣工時期を令和10年3月末に延伸した。</p> <p>歴史的資源の活用を目指す城泊事業は、観光協会と連携し、延寿閣別館の耐震改修設計や観光コンテンツの企画・造成などのほか、市民向けセミナーを開催した。引き続き、令和6年度での事業開始に向け準備を進めていく。</p> <p>また、快天山古墳では発掘調査やその調査成果を周知する現地見学会を実施したほか、笠島伝統的建造物群保存地区では、地区の防災施設を整備した。</p> <p>開館50周年を迎えた資料館では、企画展で関連事業を実施し、昨年度に比べ来館者数も増えている。今後も本市の貴重な資料の収集・整理や調査活動に努め、地域の歴史や文化遺産を活かした展覧会などを実施していく。</p>

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業			主要な成果 該当ページ
款 10 教育費		項 5 社会教育費	目 8 資料館費		
文化財保存活用課	C	1 資料館管理運営費			310
文化財保存活用課	C	2 京極家資料調査・修復等事業費			312

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	12	史跡等整備費
文化財保存活用課	C	2	文化財保護事業費					314
文化財保存活用課	C	3	埋蔵文化財調査事業費（公共）					315
文化財保存活用課	C	4	埋蔵文化財調査事業費（単独）					316
文化財保存活用課	C	5	埋蔵文化財整理事務所施設費					316
文化財保存活用課	C	6	城泊事業準備事業費					317
文化財保存活用課	C	7	史跡丸亀城跡整備推進費					317
文化財保存活用課	C	8	まち並保存推進費					318
文化財保存活用課	C	9	丸亀城天守耐震診断事業費（繰越明許費）					318
文化財保存活用課	C	10	丸亀城石垣保全調査事業費					319
文化財保存活用課	C	11	古墳等整備推進費					319
文化財保存活用課	D	12	丸亀城保存整備費（公共事業）					320
文化財保存活用課	D	13	丸亀城保存整備費（公共・繰越明許費）					320
文化財保存活用課	D	14	丸亀城保存整備費（単独事業）					321
文化財保存活用課	C	15	まち並保存事業費（公共事業）					321
文化財保存活用課	C	16	まち並保存事業費（単独事業）					322
文化財保存活用課	C	17	史跡快天山古墳整備事業費（公共事業）					322
文化財保存活用課	C	18	市指定文化財整備事業費					323
文化財保存活用課	C	19	丸亀城石垣保全整備事業費					323

基本方針	V	みんなでつくる
基本施策	22	文化芸術の振興

目指す姿	文化協会や若手芸術家などの文化活動を支えながら、市民の誰もが文化芸術に親しむ機会を充実させ、豊かに暮らせる活気に満ちたまちを目指します。								
	成果指標の推移	指標内容	基準値 2020	進捗状況				目標値 2025	
				2021	2022	2023	2024	2025	
	No.54 文化施設を拠点とした文化芸術の振興								
		美術館の利用者数	138,159人 (H29)	66,956 人	100,667 人				140,000 人
		丸亀市綾歌総合文化会館の利用者数	131,878人 (R1)	48,983 人	99,361 人				150,000 人
	No.55 多様な主体と連携した文化芸術の振興								
		アウトリーチ事業への参加者数	5,079人 (R1)	1,159 人	5,320 人				5,500 人
	No.56 瀬戸内国際芸術祭との連携								
		瀬戸内国際芸術祭本島会場への来場者数	27,469人 (R1)	—	17,679 人				28,000 人
No.57 新市民会館の整備									
	新市民会館の供用開始	—	—	—				R8.3	

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
産業文化部	C	<p>コロナ禍により著しく失われた文化芸術活動の機会回復に向けた取組を各事業で進めている。特に「子どもたちの文化芸術活動の充実」に力点をおき、芸術鑑賞公演やワークショップ、幼稚園・保育所、小学校、コミュニティへのアウトリーチ事業を拡充し、参加者数は昨年度から大幅に増加している。今後も様々な主体による文化芸術活動の機会を拡張し、新しい価値やつながりの創造を具体的実現できるよう、事業によって起こる変化や成果を意識して継続して取り組んでいく。</p> <p>新市民会館の整備については、実施設計を完了し、新築工事他6件について工事請負契約を締結した。令和7年9月末の完成を目指し、計画どおり整備を進めていく。また、管理運営計画を策定するとともに、「丸亀市民会館条例」を制定し、指定管理者の選定手続きに着手するなど、滞りなく開館に向けた準備を進めている。今後は、サポーターやファシリテーターなど、「みんなの劇場」を実現するために求められる人材育成にも更に注力して取り組んでいく。</p>

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業				主要な成果 該当ページ
款 10 教育費		項 5 社会教育費	目 9 美術館費			
文化課	C	1 美術館管理運営費				313
文化課	D	2 美術館施設整備費				313
款 10 教育費		項 5 社会教育費	目 13 文化振興費			
文化課	C	1 瀬戸内文化芸術支援事業費				324
文化課	C	2 文化芸術振興事業費				324
文化課	C	3 「津島寿一」文化振興補助金				326
文化課	C	4 瀬戸内国際芸術祭事業費				327

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	14	市民会館費
文化課	B	1	綾歌総合文化会館管理運営費					328
文化課	B	2	新市民会館整備事業費					328
文化課	C	3	綾歌総合文化会館施設整備費					329
文化課	C	4	新市民会館建設事業費					329
文化課	C	5	新市民会館建設事業費（繰越明許費）					330

基本方針	V	みんなでつくる
基本施策	23	生涯学習活動の推進

目指す姿 成果指標の推移	市民一人ひとりが生涯を通じて学び、活躍できる機会を充実させ、学んだ知識や能力を地域で活かすことができるよう、生涯学習の基盤づくりを推進します。							
	指標内容	基準値		進捗状況				目標値 2025
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	
	No.58 地域学校協働活動の推進、No.1 コミュニティ・スクールの推進（再掲）							
	地域コーディネーター養成者数	12人	10人	9人				12人
	家庭教育事業参加者数	3,125人	1,146人	1,794人				3,500人
	No.59 生涯学習機会の充実							
	市民学級の参加者数	461人	556人	618人				600人
	生涯学習人材バンク登録者数（累計）	—	—	55人				100人
	児童図書の貸出冊数	312,865冊	338,039冊	316,479冊				360,000冊
図書館の1日平均利用者 (①中央②綾歌③飯山)	①399人 ②58人 ③494人	①366人 ②58人 ③481人	①396人 ②56人 ③471人				①580人 ②100人 ③740人	
図書の総貸出数	678,829冊	717,847冊	678,267冊				780,000冊	

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
市民生活部	C	<p>地域コーディネーター養成塾を実施し、コーディネーターが学んだ知識や能力を地域で活かすことができるよう人材発掘と養成に努めた。また、市民学級等の各種講座については、オンラインなども活用し、ふだん学習する機会が確保できない方々へも学習機会の提供を行った。今後とも、生涯学習機会の提供を充実させるとともに、地域にある人材の掘り起こしとその活用に努める。</p> <p>図書館については3館連携として、講演会や研修会を実施し、子どもたちが読書に親しむきっかけづくりや読み聞かせへ興味関心を高めるよう努めた。また夏休みの全日開館の実施、庁内各課と連携した情報発信や中高生向けの展示等を実施し幅広い世代の利用につながったと考える。今後も利用者ニーズに対応できる図書館サービスの提供について調査研究し、利用拡大を図っていく。</p>

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業			主要な成果 該当ページ
款 10	教育費	項 5	社会教育費	目 1	社会教育総務費
生涯学習課	C	3	社会教育管理費		292
生涯学習課	C	4	社会教育支援事業費		292
生涯学習課	C	6	成人式開催事業費		294
生涯学習課	C	7	生涯学習推進事業費		294

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費	
生涯学習課	C	1	公民館管理運営費						299
款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	7	図書館費	
生涯学習課	C	1	図書館管理運営費						304
生涯学習課	C	2	子ども読書活動推進事業費						305
生涯学習課	C	3	図書館サービス推進事業費						305
款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	15	学習センター費	
生涯学習課	C	1	学習センター施設管理運営費						331
生涯学習課	C	2	飯山総合学習センター照明改修事業費						332

基本方針	V	みんなで作る
基本施策	28	市民参画と協働の推進

目指す姿 成果指標の推移	まちづくりへの市民参画を推進し、市民と行政が地域の課題解決に向けて互いを理解・尊重し合い、普段からまちづくりに参加できる機会を創出しながら、「協働のまちづくり」を目指します。							
	指標内容	基準値 2020	進捗状況 2021 2022 2023 2024 2025					目標値 2025
	No.72 自治基本条例の推進							
	丸亀市自治基本条例を知っている市民の割合	31.3%	—	—				↑ (R6)
	No.73 市民交流活動センター（マルタス）の活用							
	マルタス来館者数	26,324人 (R3.3.22 ~31)	575,003 人	768,328 人				70万人
	市民活動登録数	129件	216件	264件				180件
	市民活動者交流会参加者数	—	43人	54人				25人
	No.74 主権者教育の推進							
	若い世代の投票率	22.82% (R1参議)	29.17%	21.29%				35%

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
市長公室	C	自治推進委員会からの提言を踏まえ、市広報紙での連載等を通じて自治基本条例の理解促進や協働のまちづくりの推進に向けた周知啓発を行うとともに、デジタルを活用した市民参画手法としてeモニター制度を導入した。今後も市民が市政に参加しやすい環境づくりに努める。 市民相談など様々な相談機会を設け、市民の問題解決に繋げた。
市民生活部	C	マルタスの利用者数は年間目標である70万人を達成し、来館者に市民活動を身近に感じていただくことができた。また、市民活動登録は年度更新としており、その際には活動の目的や公益性、計画などを確認し、団体の目指す姿を改めて考えていただく機会とした。引き続き、交流会を定期的に開催し、活動者同士の交流を通じて新たな活動へのヒントとなるよう努めるとともに、市民活動者への支援に繋がる取組を展開していく。
議会事務局	C	新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた議会報告会等を3年ぶりに開催し、市民への情報発信や市民意見の把握に努めるとともに、委員会会議録の市ホームページ上での公開を決定するなど、市民に開かれ、市民とともに歩む議会活動に取り組んでいる。 また、議員控室のパソコンを廃止し、タブレット端末に文書作成機能を付け加え幅広く活用することで、「行政へのチェック機能」及び「政策提案能力」の向上につなげていく。
総務部（選挙管理委員会事務局）	C	適正な選挙事務を遂行するとともに、SNSやホームページによる情報発信や、選挙時におけるコミュニティバス乗車無料キャンペーン、投票所での啓発うちわの配布など選挙啓発に努めた。特に若い世代の投票率向上のため、市内の高校での出前授業や二十歳の成人式会場での啓発を行うほか、教育委員会と連携し、主権者としての自覚や社会参画を促進できるよう主権者教育を推進したが、投票率は低迷している状況である。今後さらなる啓発及び情報発信に努めるとともに、誰もが等しく選挙権が行使できるよう、投票環境の改善を図る。

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業			主要な成果 該当ページ
款 1 議会費		項 1 議会費	目 1 議会費		
議会事務局	C	1 議会管理費			27
款 2 総務費		項 1 総務管理費	目 8 企画費		
秘書政策課	C	5 自治推進事業費			52
款 2 総務費		項 1 総務管理費	目 14 生活振興費		
広聴広報課	C	1 無料法律相談事業費			61
広聴広報課	C	2 市民・行政相談事業費			61
生涯学習課	C	9 地域市民活動促進事業費			65
生涯学習課	C	10 市民交流活動センター施設管理運営費			65
生涯学習課	C	11 市民交流活動センター改修事業費			66
款 2 総務費		項 4 選挙費	目 1 選挙管理委員会費		
選挙管理委員会事務局	C	1 選挙管理委員会費			103
款 2 総務費		項 4 選挙費	目 2 選挙啓発費		
選挙管理委員会事務局	C	1 選挙啓発事業費			104
款 2 総務費		項 4 選挙費	目 3 選挙費		
選挙管理委員会事務局	C	1 参議院議員選挙費			105
選挙管理委員会事務局	C	2 県知事選挙費			106
選挙管理委員会事務局	C	3 県議会議員選挙費			107

基本方針	V	みんなで作る
基本施策	29	地域コミュニティの活性化

目指す姿	地域による主体的なまちづくりの実現を図るため、コミュニティ活動を支援し、活性化を図りながら、地域課題への対応を共に進められる社会を目指します。							
	指標内容	基準値	進捗状況					目標値
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2025
	成果指標の推移	No.75 コミュニティ活動の活性化と自治会加入促進						
	コミュニティセンターの利用者数	254,632人 (R1)	171,019 人	233,161 人				290,000 人
	コミュニティ表彰（まちづくり大賞）応募地区数	3地区	6地区	4地区				6地区
	自治会加入率（4月1日現在）	50.5%	49.8%	47.9%				現状維持

【施策評価】

担当部局	評価	担当部長が考える評価の根拠及び改善策
市民生活部	D	<p>コミュニティは、運営助成金やまちづくり補助金を活用し、地域性を活かした独自のまちづくりを推進しているが、コミュニティの基盤組織である自治会の加入率は、年々減少している。引き続き、自治会加入推進員を活用し、自治会未加入世帯へ加入を働きかけるとともに、自治会活動が安心して継続できるよう相談・啓発業務にも取り組むことで、自治会加入率の維持・向上を図る。</p> <p>コロナ感染症の影響による活動制限も終息の兆しが見られ、地域での活動再開が期待される中、地域活動がコロナ禍以前のように活発に行われ、地域力が高められるように引き続き支援する。</p> <p>また、地域の活動拠点となるコミュニティセンターについては、利用者が安心して利用できる施設となるよう、耐震性が不足する施設について計画的に整備を進める。</p>

【事務事業評価】

担当課	評価	予算事業						主要な成果 該当ページ
款 2 総務費		項 1 総務管理費	目 14	生活振興費				
生活環境課	D	7 自治会振興費					64	
生活環境課	C	8 生活振興施設整備費					64	
款 2 総務費		項 1 総務管理費	目 16	コミュニティ費				
生活環境課	C	1 コミュニティセンター運営費					68	
生活環境課	C	2 コミュニティ推進費					69	
生活環境課	C	3 コミュニティセンター整備事業費					69	
生活環境課	C	4 コミュニティセンター施設整備費（繰越明許費）					70	